

ロームシアター京都 2026年度(令和8年度)自主事業ラインアップ

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
2026年3月25日 報道発表資料

[本リリースに関するお問合せ先]
ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
広報担当:山本、儀三武
電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366
E-mail:press@rohmtheatrekyoto.jp
<https://rohmtheatrekyoto.jp/>

- 2026年度自主事業の企画について4
- 2026年度自主事業ラインアップ 6つの事業カテゴリ5
- 自主事業ラインアップパンフレット ビジュアルについて5
- 10周年記念ロゴ6
- tupera tupera (ツペラ ツペラ)10周年記念メインビジュアル原画展示6
- 建築展示「京都会館／ロームシアター京都 65年の記録」6

自主事業公演ラインアップ ※開催日順

- 市民寄席(第380回～第384回)7
- 能の世界へおこしやす ー京都薪能鑑賞のための公開講座ー8
- Sound Around 006『Weavings|おること』9
- ホリデー・パフォーマンス Vol.21～Vol.2310～11
- ローザス、アトラファイブ
『和声と創意の試み / Il Cimento dell' Armonia e dell' Inventione』12～13
- プレイ！シアター in Summer 2026
 - ・ <ステージプログラム>アガット&アドリアン『ノルムーふたりのバランスー』14
 - ・ <ステージプログラム>コンパニー・デ・ミュタン × サイド・ショー共同制作『やさしいカクメイ』15
 - ・ 舞台スタッフワークショップ16
 - ・ オープンデイ16
 - └ 京都市交響楽団0歳からの夏休みコンサート17
- ロームシアター京都10周年×京都市交響楽団70周年共同プロジェクト
 - ・ Project A「オルフ:カルミナ・ブラーナ」18～19
 - ・ Project B「ブリテン:春の交響曲」20～21
- 現代オペラパフォーマンス『HAVE A GOOD DAY!』22～23
- KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 202623
- レパートリーの創造／レパートリーの創造 ホープスについて24
 - ・ レパートリーの創造 ホープス
 - └ 西田悠哉／劇団不労社 新作『暗黒の喜劇』25
 - └ 野村真人『吉日再会』26
 - └ 野村真人 新作『観光』(仮)26
 - ・ レパートリーの創造 和田ながら 新作『メンズ・ティー・パーティー』27
- 新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2026 プッチーニ:『蝶々夫人』28
- ダムタイプ『2020』29
- 土田英生 作・演出 新作朗読劇30
- 小澤征爾没後3年 小澤征爾のレガシーを未来へとつなぐコンサート30
- ロームシアター京都×京都芸術センターU35創造支援プログラム“KIPPU”について31
 - ・ うさぎの喘ぎ31
 - ・ 増川建太／こむらがえり體32

コミュニティ・プログラム

- “いま”を考えるトーク Vol.28～Vol.3033
- OKAZAKI PARK STAGE 202633
- ユスカル！～若者文化市～ 202634
- とよりの劇場34
- ロームシアター京都×京都市文化会館連携事業
「シアターデビュー！」促進プログラム35
- アセンブリープログラム35

ラーニング・プログラム

- 劇場の学校36～37
- 舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～37
- ロームシアター京都×京都市東山青少年活動センター連携事業 未来のわたし ー劇場の仕事ー38
- リサーチプログラム38

共催事業ラインアップ ※開催日順

- 第75回京都薪能 ー平安神宮創建記念130年 四海平安ー39
- 京都市交響楽団 オーケストラ・ディスカバリー2026「京響70周年スペシャル」40
 - ・【第1回】テーマ:70周年プログラムー発見！ぎゅぎゅっと！傑作選！40～41
 - ・【第2回】テーマ:バレンタイン・スペシャル・コレクション40～41
- 能楽チャリティ公演～祈りよとどけ、京都より～41
- 東京バレエ団 ブルメイステル版『白鳥の湖』42
- アジアTYAネットワーク てくてくアジア Little Steps to Asia43
- ニットキャップシアター 新作『風は言葉をドングリに変えた』43

- ロームシアター京都10周年連携事業44
- WEBマガジン「Spin-Off(スピノフ)」44
- 音楽総合体験施設 ミュージックサロン45
- 会員制度45
 - ・ サポーター・パートナー制度45
 - ・ club会員45
- アクセシビリティ情報46
- 事業課メンバー紹介47

2026年度自主事業の企画について

ロームシアター京都10周年事業テーマ (2025-2026年度ラインアップテーマ)

「つづきのはじまりはじまり」

2026年度は、京都に縁のあるアーティストたちの創作に光を当てます。京都という場所で育まれてきた表現が、さまざまなかたちで舞台上に立ち上がります。そして、その歩みを未来へとつなぐ創作が動き出します。あわせて、子どもを対象とした事業や、劇場に親しんでもらうためのアウトリーチにも積極的に取り組み、幅広い世代が舞台芸術と出会う機会を広げていきます。

まず、創立70周年を迎える京都市交響楽団とは、京都における音楽分野をリードする実演団体との協働を含む、ふたつのプロジェクトを実施します。12月のProject B「ブリテン:春の交響曲」では、東野祥子、康本雅子といったダンサーを迎え、音楽と身体表現が交差する意欲的なコラボレーションに挑みます。また、音を軸にした実験的なパフォーマンスシリーズ「Sound Around」では武田真彦が新作を発表し、「レパートリーの創造」では和田ながら(したため)、西田悠哉(劇団不労社)、野村真人(レトロニム)が、それぞれ新作に取り組みます。

さらに、世界から注目を集めるマルチメディア・パフォーマンス・グループ〈ダムタイプ〉が、2002年以来となる新作『2020』を、ついに京都で発表します。本作は当初、2020年3月に上演予定でしたが、コロナ禍により中止となり、映像公開のみが行われてきました。数年の時を経て、舞台作品として京都でようやく初演を迎えます。記念事業の掉尾を飾るのは、京都を代表する劇作家・演出家、土田英生(MONO)による朗読劇です。京都のまちや人々を題材に創作され、出演者を一般公募しながら、広く参加を呼びかけるプロジェクトとなります。

こうした創作と並び、2026年度には注目の海外作品を2作品上演します。1作品目は、1983年にブリュッセルで設立され、コンテンポラリーダンスの最先端を走り続けているダンスカンパニー、ローザス、アトラファイブによる『和声と創意の試み / Il Cimento dell' Armonia e dell' Inventione』です。誰もが耳にしたことのあるアントニオ・ヴィヴァルディ作曲《四季》が持つ「自然への賛歌」という側面に注目し、人間と自然の関係や環境問題へのまなざしを掘り下げます。2作品目は、リトアニアから初招聘となる、ヴァイヴァ・グライニテ(作)、リナ・ラペリテ(作曲)、ルギーレ・バルズジュカイト(演出)による現代オペラパフォーマンス『HAVE A GOOD DAY!』です。10人のスーパーマーケットのレジ係が歌いながら、日常の労働や消費社会をユーモラスかつ批評的に描き、世界各地で高い評価を得てきた作品です。

ロームシアター京都は、2026年1月10日に開館10周年を迎えました。この10年間、劇場を支えてくださった多くの皆さまへの感謝を胸に、その歩みを確かな土台として、私たちは一步一步、次の挑戦へと進んでいきます。新たな出会いと創造の先で、また新しい物語が生まれていくことでしょう。みなさま、ぜひ劇場でお会いしましょう。

小倉由佳子(ロームシアター京都プログラムディレクター)

2026年度自主事業ラインアップ 6つのカテゴリー

01 作品の創造

劇場の財産となる作品のプロデュースや国内外のアーティストとの協働により、ロームシアター京都を創造の場として活かした事業を展開します。

02 京響プログラム

ロームシアター京都は京都市交響楽団の第2のフランチャイズホールです。音楽のみならず他ジャンルとのコラボレーションなどで京響の新たな魅力を広げます。

03 伝統芸能の継承

日本舞踊、能楽、文楽、雅楽といった古典芸能に加え、地域で継がれてきた民俗(郷土)芸能を独自の切り口で紹介し、伝統芸能の面白さを伝えます。

04 ロームシアター京都セレクション

国内外からの選りすぐりの舞台芸術作品をご紹介します。次代を担う若手アーティストの創造支援やKYOTO EXPERIMENTなどさまざまな施設や団体と連携して行うプログラムもあります。

05 ラーニング

小中高生、それぞれの年代に応じた育成事業を展開するほか、舞台芸術に関わるレクチャーやリサーチを創作・実践の場と連動して行います。

06 コミュニティ

多様なライフスタイルと密着したプログラムや、ホールを飛び出して行う事業などを通して、京都・岡崎地域の施設や団体と連携を深め、地域の活性化に繋がります。

自主事業ラインアップパンフレット ビジュアルについて

ロームシアター京都の2026年度自主事業ラインアップをわかりやすくまとめたパンフレットです。おおよそ2年ごとにデザインを変え、発行しています。

今年度と昨年度は、吉田健人(bank to LLC.)がデザインを手掛けています。表紙のイラストレーションは、高橋あゆみによるもので、2026年度は舞台側から、2025年度は客席側からの対の書き下ろしイラストです。

デザイン:吉田健人(bank to LLC.)

イラストレーション:高橋あゆみ



2025年度事業パンフレットビジュアル



2026年度事業パンフレットビジュアル

10周年記念ロゴ

10周年のお祝いと、未来への期待を込めたシンボルマーク。くるくるとまわる動的な展開で「劇場文化」を、明るいうグラデーションカラーで「多様な可能性」を表現しています。

デザイン:ym design Co.Ltd.



ロームシアター京都
10周年記念事業

tupera tupera (ツペラ ツペラ)10周年記念メインビジュアル原画展示

ロームシアター京都10周年を記念して製作された、アーティストtupera tuperaによる作品を展示します。

約150センチもあるおおきな「ロームシアター京都くじら」にぜひ会いにきてください。

鯨に集うたくさんの個性豊かなキャラクターたちを間近に見ていただけます。どんな人々、生き物たちがいるでしょうか。

日時:2026年1月10日(土)～12月31日(木) ※開館時間に準ずる

会場:プロムナード チケットカウンター横

料金:無料

アート:tupera tupera 亀山達矢、中川敦子

デザイン:北原和規(UMMM)

写真撮影:山地憲太(SHINSEKI Inc.)

什器デザイン:ドットアーキテクト

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、
京都市



撮影:SHINSEKI Inc.

建築展示「京都会館／ロームシアター京都 65年の記録」

モダニズム建築の巨匠・前川國男氏による設計で1960年に誕生した京都会館は、2016年に大規模リノベーションを行いロームシアター京都として生まれ変わりました。本展では、京都会館建設当時の様子を知る貴重な写真等から過去の姿と現在の姿を比較し、建築としての魅力をあらためて伝えます。

写真展示以外にも、京都会館の設計模型の公開や、京都府立図書館と連携し、関連書籍もご覧いただけます。

日時:2026年1月10日(土)～11月30日(月)

※3階共通ロビーのオープン時間に準ずる

会場:パークプラザ3階共通ロビー

料金:無料

監修者:下川太一

(香山建築研究所設計主任・下川建築文化研究所代表)

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、
京都市



撮影:SHINSEKI Inc.

自主事業ラインアップ ※開催日順

市民寄席(第380回～第384回)

演劇

日時:

第380回 5月26日(火)19:00開演

第381回 7月28日(火)19:00開演

第382回 9月27日(日)13:30開演

第383回 11月24日(火) 19:00開演

第384回 2027年1月17日(日) 13:30開演

会場:

サウスホール



託児あり
※9月、2027年1月のみ

上方落語を楽しむ恒例シリーズ!

1957年にスタートし、京都では恒例の落語会として長く親しまれてきた「市民寄席」。幅広い世代に笑いを届ける上方落語の生の迫力と寄席の雰囲気をご体験ください。



<10周年記念事業> 第379回市民寄席 口上
撮影:佐々木卓男

第380回市民寄席 番組

「花色木綿」笑福亭喬龍

「写真の仇討」桂二乗

「幽霊の辻(小佐田定雄作)」林家染二

「粗忽長屋」露の五郎



左から露の五郎、林家染二、桂二乗、笑福亭喬龍

チケット情報

全席指定(税込)

第380回、第381回、第383回

前売:1,800円(会員価格:1,700円)、当日:2,000円、ユース(29歳以下):1,500円

第382回、第384回

前売:2,300円(会員価格:2,100円)、当日:2,500円、ユース(29歳以下):1,500円

※未就学児入場不可。

※ユースチケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

発売日:

第380回 発売中

第381回 5月26日(火)一般発売/5月19日(火)会員先行発売

第382回 7月28日(火)一般発売/7月21日(火)会員先行発売

第383回 9月27日(日)一般発売/9月20日(日)会員先行発売

第384回 11月24日(火)一般発売/11月17日(火)会員先行発売

主催:京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

能の世界へおこしやす — 京都薪能鑑賞のための公開講座 —

演劇

日時：
6月1日(月)、6月2日(火) 両日15:00開演

会場：
メインホール



京都薪能の開演前に、能・狂言の魅力、いざ体験

京都薪能を通じて能と狂言の世界をお楽しみいただくために、出演者による公開レクチャーを今年も実施いたします。能の謡や囃子、狂言の体験を交えた解説の後に、ダイジェスト版の能も鑑賞していただけます。午後6時に開催される“京都薪能”をご覧になる前に、午後3時から無料レクチャー「能の世界へおこしやす」にどうぞお越しください。

チケット情報

全席自由、無料、申込不要

※未就学児入場不可。

主催：京都市、一般社団法人京都能楽会、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

お問合せ

京都いつでもコール TEL:075-661-3755

ロームシアター京都 TEL:075-771-6051

同日開催「第75回京都薪能 — 平安神宮創建130年 四海平安 —」の情報は39ページ参照

Sound Around 006『Weavings | おること』

音楽

日時:

6月13日(土)19:00開演
6月14日(日)16:00開演

会場:

ノースホール



ロームシアター京都
10周年記念事業

託児あり

シリーズ第6弾は、京都を拠点に

電子音響から現代美術、伝統工芸まで横断する武田真彦

ジャンルや固定観念にとらわれない「音楽」を軸とした表現活動を行うアーティストによるパフォーマンスを紹介するシリーズの第6弾。今回のアーティストは、京都を拠点に活動し電子音響、パフォーマンスアート、現代美術、伝統工芸など幅広い領域を横断して作品を制作している武田真彦です。西陣織を継ぐことができ

なかった自身の家業を背景に、「織る」行為を再定義する舞台パフォーマンスを行います。「織る」とは、断片をつなぎ、連続性を編み出す行為であり、同時に欠落や断絶を内包しながら新たな関係を立ち上げるプロセスでもあります。本作では、音・声・香・身体・配置といった要素を、完成された表現として提示するのではなく、それらが立ち上がる条件や関係性そのものを舞台上に配置していきます。茶の湯における「配置」という感覚、雅楽に見られる繰り返し・間の取り方などの時間構造、ジョン・ケージやサティに通じる非中心的な作曲観を手がかりに、演奏者・観客・空間が相互に影響し合う舞台を構想します。劇場空間を活かし、出来事が静かに織り上がっていくための一時的な織機となるような場を創出します。



アーティスト: 武田真彦

コラボレーター: 芦田かな(ヴィブラフォン・打楽器奏者)、井原季子(鳳笙奏者)、上田聖子(キュレーター)、沙里(調香師)、中山福太郎(茶人) 機材・技術協力: 園田基貴(SPEKTRA)、ジクリ・ラフマツ(IAMAS)、Kafuka(Laatry)
衣装提供・協力: RAINMAKER、岸隆太郎 ガラス素材提供・協力: 株式会社大興製作所
展示協力: black cat day dream ほか

プロフィール

武田真彦 | Masahiko Takeda

京都を拠点に活動する音楽家、アーティスト。同志社大学商学部卒業、Central Saint Martins Couture Tailoring 修了。家業であった西陣織「大樋の黒共」の廃業を背景に、残された素材・技術・歴史を継いでいく見立てを通じて、サウンドインスタレーション、パフォーマンスアート、現代美術、伝統工芸など幅広い領域における作品を制作。主な作品として、フルアルバム「Mitate」(2019年)、サウンドインスタレーション作品「CYCLEE」(2020年)、音のプロダクト「Synclee」(2023年)、サウンドインスタレーション作品「WEAVING BLACK」(2025年)などがある。2023年、香港メディアアートアワード FUTURE TENSEにおいて、サウンドインスタレーション作品「CYCLEE」がBEST POPULARITY AWARD最優秀賞を受賞。

武田真彦WEBサイト: <http://masahikotakeda.com>



©Tomoko Hayashi (atelier now/here)

チケット情報

全席自由(税込)

一般: 2,500円(会員価格: 2,200円)、ユース(29歳以下): 1,500円、18歳以下: 1,000円

発売日: 4月18日(土)一般発売 / 4月11日(土)会員先行発売

※未就学児入場不可。

※ユースチケット・18歳以下チケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

主催: ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ホリデー・パフォーマンス

音楽

日時:

Vol.21 6月13日(土) 15:00開演

Vol.22 7月19日(日) 14:00開演

Vol.23 2027年2月13日(土)

会場:

プロムナード、パークプラザ3階 共通ロビー ほか

日常にアートにふれる機会を

音楽をはじめ美術や演劇など、様々なジャンルのパフォーマンスを無料でお楽しみいただけるシリーズです。

Holiday Performance

各回出演者・内容

・Vol.21 フランソワ＝グザヴィエ・リシャール(紙のオルガン)

フランス出身の紙・壁紙・造形を専門とする職人&作家。

自ら制作したオリジナル楽器「紙のオルガン」の音の響きをお楽しみください。

・Vol.22 菅沼起一(リコーダー) ゲスト:GEN-ON Channel[松崎ゆり(フルート)、溝淵加奈枝(ソプラノ)]

菅沼はリコーダー奏者・音楽学者として演奏実践と理論研究に並行して取り組む音楽家。「GEN-ON Channel」のメンバーとともに、中世から現代の音楽まで幅広いレパートリーを取り上げる。「GEN-ON Channel」は、ドイツ・日本在住の現代音楽と古楽を専門とする若手演奏家・研究者の3人(菅沼、松崎、溝淵)によるグループで2023年結成。

・Vol.23 上野訓子(コルネット)、大内山薫(バロックヴァイオリン)、淡島宏枝(ドゥルツィアン)

400年前にヨーロッパで大活躍していたコルネットに、バロックヴァイオリン、ドゥルツィアンが加わり古楽アンサンブルの演奏をお届けします。現代とは一味違った音世界をお楽しみください。

プロフィール

フランソワ＝グザヴィエ・リシャール | François-Xavier Richard

画家、彫刻家、版画家のフランソワ＝グザヴィエ・リシャールは、手刷り木版壁紙の制作を専門とする《アトリエ・ドファール》の創設者。18世紀および19世紀の大規模工房における伝統的な製造技法を継承しつつ、伝統的手法に独自のコンテンポラリーな視点を加えている。

2017年にヴィラ九条山に滞在した際、和紙を中心にさまざまな種類の紙が生み出す音を響かせる楽器「紙のオルガン」を制作。この作品はミュージシャンとの協働によるパフォーマンスの中で演奏され、観客に独自の音響体験をもたらすものである。



提供:ヴィラ九条山

菅沼起一 | Kiichi Suganuma

京都市出身。東京藝術大学音楽学部古楽科(リコーダー)、同大学院(音楽学)を経て、パーゼル・スコラ・カントルムとフライブルク音楽大学との共同博士課程を最高点で修了し博士号(音楽学)を取得。2021年度日本学術振興会育志賞受賞。現在は京都大学・洗足学園音楽大学・京都女子大学非常勤講師、ピティナ音楽研究所協力研究員。



松崎ゆり | Yuri Matsuzaki

東京藝術大学卒業後、DAAD、文化庁、STIBET博士プログラムより奨学金を得て渡独、ライプツィヒ音大修士及び国家演奏家資格課程をイルメラ・ボスラー教授のもとで修了。現在はドレスデン音大現代音楽科講師等を務める他、グラーツ芸術大学とチューリッヒ芸術大学の共同博士課程にて、ダイナミック・ノーターションの開発と、現代音楽におけるフルートの表現力を研究している。



溝淵加奈枝 | Kanae Mizobuchi

香川県高松市出身。国立音楽大学卒業後、ストラスブール地方音楽院およびシュトゥットガルト音楽・演劇大学を修了。現在は情報科学芸術大学院大学(IAMAS)博士後期課程に在籍。これまでにドナウエッシンゲン音楽祭、トランスメディアアーレ、サントリーサマーフェスティバル等に出演し、その演奏はNHKやSWR、WDR等で放送されるほか、ダラム大学にてマスタークラスを行うなど、国内外で幅広く活動している。



©sumi takeshi

上野訓子 | Kuniko Ueno

コルネット(ツィンク)を濱田芳通、B.ディッキー、J.テュベリの各氏に師事。スイス・バーゼルスコラントウルクにて学んだ後、渡仏。パリ市高等音楽院古楽科にてディプロマ取得。ヨーロッパの主要古楽アンサンブルのメンバーとして活動後、帰国。アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニのメンバーとして関西を拠点に活動している。



大内山薫 | Kaoru Uchiyama

西宮市出身。幼少よりヴァイオリンを長谷川孝一、石川誠子、久合田緑に師事する。京都市立芸術大学を経て同大学院を首席修了。大学院賞受賞。博士課程にて学ぶ。在学中から京都フィルハーモニー室内合奏団などで活躍し、その後古楽の研鑽を深めるために渡欧。デンハーグ王立音楽院古楽科にてバロックヴァイオリンを寺神戸亮氏に師事しディプロマを取得し卒業。仏シャンゼリゼ管弦楽団より2年連続で全額スカラシップを受け古楽音楽祭Festival de Saintesに参加。福岡古楽音楽祭、北とぴあ国際音楽祭など国内外の古楽音楽祭、コンサート、録音、オペラに多数出演。

近年は様々な古楽団体のコンサートマスターやアンサンブルリーダーとしても活躍している。レポレアート、アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ、古楽弦楽四重奏団Quartet Noonメンバー。KANSAI BAROQUEコンサートマスター。



淡島宏枝 | Hiroe Awashima

相愛大学音楽学部卒業。同大学研究課程終了。卒業後、古楽器に取り組む。コレギウム・ムジクム・テレマン、アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニとの共演など、モダンバスの他にもバロックバスーン、クラシカルバスーン、ドゥルツィアン等のピリオド楽器によるソロ、室内楽、オーケストラの演奏活動を行う。



チケット情報

無料、申込不要

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共催：ヴィラ九条山、アンスティチュ・フランセ、ベタンクールシュエラー財団 ※Vol.21のみ

<他地域での上演>

6月19日(金) 久多いきいきセンター ほか ※Vol.21のみ

ローザス、アトラファイブ 『和声と創意の試み / Il Cimento dell' Armonia e dell' Invention』

舞踊

日時:

6月27日(土)19:00開演

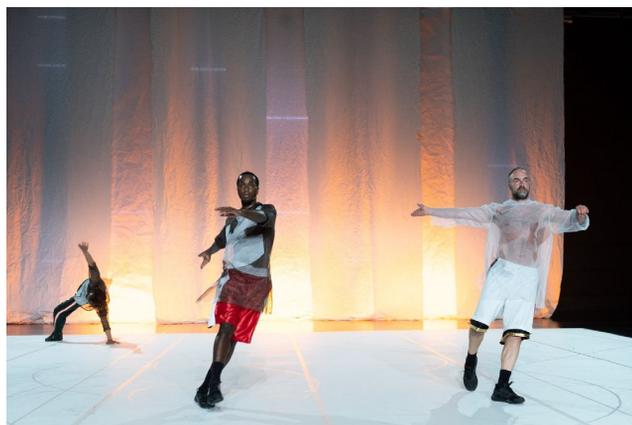
6月28日(日)14:00開演

会場:

サウスホール



託児あり



左右ともに Photo: Anne Van Aerschot

この地球に、まだ四季はあるのか

ヴィヴァルディ《四季》への応答—

気候変動の時代にローザスが放つ、自然と音楽への静かなる問いかけ

2025年に高松宮殿下記念世界文化賞を受賞した世界的振付家アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルと、気鋭の振付家ラドワン・ムリジガが、ヴィヴァルディ《四季》を起点に創り出す新作。2024年に発表され、Rosasの人気作となった本作が、ついに日本初上陸を果たします。

4人のダンサーによる跳躍、旋回、回転は天体の循環と呼応するように展開し、約300年前の地中海から響く自然賛歌の楽曲と共にいま私たちが直面する気候変動の現実を詩的に問いかけます。

“何気ない、しかし知的に構築される、90分間のダンスの幾何学“

★★★★ ——— 英/フィナンシャル・タイムズ紙

振付:アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、ラドワン・ムリジガ

共同創作・出演:ボシュチャン・アントニッチ、ナシーム・バダグ、ラヴ・ク룬チェヴィッチ、ホセ・パウロ・ドス・サントス

音楽:アントニオ・ヴィヴァルディ《四季》

録音:アマンディーヌ・バイエ、リ・インコーニティ Alpha Classics / Outhere Music(2015)

音楽分析:アマンディーヌ・バイエ

詩:アスマー・ジャマ「We, the salvage」、アントニオ・ヴィヴァルディ「Le quattro stagioni」

[世界初演] 2024年5月11日 ローザス・パフォーマンス・スペース(ブリュッセル)

[共同初演]:ド・ミュント/ラ・モネ、カーイテアター、クステンフェスティバル

プロフィール

アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル | Anne Teresa De Keersmaeker

1960年生まれ。ブリュッセルのムードラおよびニューヨーク大学ティッシュ・スクール・オブ・ジ・アーツでダンスを学んだ後、1980年に初の振付作品『アッシュ』を発表。2年後には『ファーズ～スティーヴ・ライヒの音楽による4つのムーブメント』を初演。1983年にはブリュッセルにダンスカンパニー〈ローザス〉を設立し、『ローザス・ダンス・ローザス』を創作した。以降、ケースマイケルの創作は、ダンスと音楽の関係を厳格かつ多角的に探求することを基盤としている。1995年には、ブリュッセルのラ・モネ劇場と提携し、パフォーミング・アーツの教育機関P.A.R.T.S.(Performing Arts Research and Training Studios)を設立し、アーティスト育成にも力を入れている。

ラドワン・ムリジガ | Radouan Mriziga

1985年モロッコ生まれ。マラケシュとチュニジアでダンスを学んだ後、ブリュッセルのP.A.R.T.S.にて研鑽を積み、2012年に卒業。その後、〈ローザス〉『Zeitung』の再構築プロジェクトや、さまざまな国際的振付家の作品に参加し経験を重ねる。2014年より本格的に自身の創作活動を開始し、ソロ作品『55』、グループ作品『3600』『7』などを発表。ブリュッセルのカシアターや、アントワープのデ・シングルレジデンス・アーティストを務め、『Atlas』『Libya』『Aka』ほか、注目作を次々と発表している。2019年〈アトラファイブ〉設立。ケースマイケルとは2020年の『3IRD5 @ W9RK』に続く協働となる。



Photo: Anne Van Aerschot

チケット情報

全席指定(税込)

一階席:7,000円(会員価格:6,300円)、二階席:5,000円、ユース(29歳以下):3,000円、18歳以下:1,000円

発売日:3月28日(土)一般発売/3月21日(土)会員先行発売

※未就学児入場不可。

※ユースチケット・18歳以下チケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共同招聘:愛知県芸術劇場、彩の国さいたま芸術劇場

協力:東京新聞

後援:駐日ベルギー王国大使館

助成:ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーベル

<他地域での上演>

埼玉公演 6月19日(金)ー21日(日) 彩の国さいたま芸術劇場

愛知公演 6月24日(水) アマノ芸術創造センター名古屋

プレイ！シアター in Summer 2026<ステージプログラム>
アガット&アドリアン『ノルムーふたりのバランスー』from ケベック(カナダ) 演劇／舞踊

日時：
7月18日(土)、7月19日(日)

会場：
ノースホール

託児あり

「当たり前」にちょっと待った！

強さと優しさにあふれたアクロバットステージ

カナダのケベック州を拠点に活動するアガット&アドリアンによる『ノルム』は、アクロバティックな技術やダンスを巧みに融合させ、パワフルでコミカルなアクロバットとストーリーテリングの要素を織り交ぜた魅力的なステージ。彼らはハンド・トゥ・ハンドやイカリアン・ゲームといったサーカス技術を駆使し、迫力あるパフォーマンスを披露します。

タイトルの『Normes』とは、フランス語で「まきり」「当たり前」のこと。それに「No」と言ってみよう。というのがこの作品のテーマ。二人の主人公は、協力と対立を繰り返し、舞台を戦いのアリーナのように変えていきます。しかし、関係が進むにつれて固定観念やアーキタイプは次々と崩れ、力や柔軟性を通じて、二人の友情や公平さを求める冒険へと変わります。

このショーが伝えたいメッセージは、体の大きさや性別にとらわれることなく、限界を設けずに自分の夢や目標を追い求めることの大切さです。女性は強くてたくましく、男性もやさしくて脆弱であってもよい。性別に関係なく、人生は自分が選んだ通りに歩んでいける！という希望に満ちたメッセージが込められています。

プロフィール

アガット&アドリアン | AGATHE & ADRIEN

カナダ・ケベックを代表するサーカスカンパニーで経験を積んだのち、社会的・環境的な価値観を「コミットド・サーカス(社会的姿勢を持つサーカス)」として表現するため、独立して創作活動を開始したデュオである。これまでに『Branché』『Piece of Mind』『Interact』、そして最新作『ノルム』を発表し、サーカス、コンテンポラリーダンス、パフォーマンスアートを横断する独自のアクロバット言語を発展させてきた。ミニマルな美術、繊細な照明、ダイナミックな身体表現によって、人間関係の揺らぎや役割の流動性を描き、既存の規範や思い込みを解体する作品を生み出している。

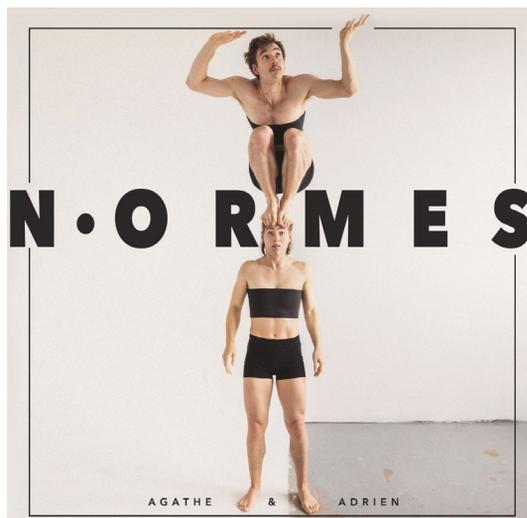


Photo: Thibault Carron



Photo: Thibault Carron

チケット情報

全席自由(税込)

おとな:2,000円(会員価格1,800円)、こども(18歳以下):800円、おとな+こどもペア:2,500円 ※10歳以上推奨

発売日:5月23日(土)一般発売 / 5月16日(土) 会員先行発売

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 制作協力:世田谷パブリックシアター

<他地域での公演>

東京公演 7月21日(火)~23日(木) シアタートラム

愛知公演 7月25日(土)~26日(日) 穂の国とよはし芸術劇場PLAT アートスペース

プレイ！シアター in Summer 2026<ステージプログラム> コンパニー・デ・ミュタン × サイド・ショー共同制作『やさしいカクメイ』 from ベルギー

舞踊／演劇

日時:

7月25日(土)14:00開演

7月26日(日)11:00開演／14:00開演

会場:

ノースホール



託児あり

世界をぐるりと歩く、3人の物語

3人の友だちは、森をぬけ、山をのぼり、海をながめ、

3日と2晩の小さな旅をします。

こども・若者向け演劇のコンパニー・デ・ミュタンと現代サーカス劇団サイド・ショーが初めて協働し、演劇・サーカス・ダンスの境界を越えた新しい舞台「リラックス・スペクタクル」を創作しました。4人の芸術監督が演出から出演まで深く関わり、前例の少ない表現に挑んでいます。本作の出発点には、トゥレット症候群をもつこどもが従来の劇場環境では観劇が困難であるという個人的な経験がありました。厳格なマナーや過剰な刺激に代わる、神経多様性のある観客にも開かれた舞台の必要性を感じ、世界の事例を調査しながら独自の演劇言語を模索。2023年5月、誰もが安心して楽しめるサーカス作品として初演され、高い評価を受け各地で上演されています。



Photo: Hubert Amiel

プロフィール

コンパニー・デ・ミュタン | La Compagnie des Mutants

ベルギーを拠点に40年以上にわたり活動している「こども・若者向け演劇」のカンパニー。こどもたちの思考を刺激し、好奇心を呼び起こす舞台作品を届けることをなによりも大切にしている。詩的でユーモア、ひねりを交えてテーマを描き、こども向けの作品であっても安易な単純化や教育的表現ではなく、こどもが物語の奥にある意味を受け取る力を信じ、隠喩を生かし、大胆でありながら緻密でよこびに満ちた演劇を創作している。

サイド・ショー | Side-Show

ベルギー／ブリュッセルの国立美術学校 La Cambre で舞台美術を学んだアリーヌ・ブロイカーとブリュッセルのサーカス芸術高等学校(ESAC)で身体表現を学んだカンタン・ケテルスが2009年に設立した現代サーカス・カンパニー。これまでに『Wonders』(2013)、『Spiegel im Spiegel』(2017)、『Sho-Ichidô』(2018)、『Portraits』(2021)などの作品を発表し、サーカスと造形芸術が交わる独自の視覚的表現を特徴としている。2023年には初めてのリラックス・パフォーマンス作品『PERMIT, oh permit my soul to rebel』を創作、コンパニー・デ・ミュタンと共同で制作した『やさしいカクメイ』は高い評価を受け、世界中で上演されている。

チケット情報

全席自由(税込)

おとな:1,800円(会員価格1,700円)、こども(18歳以下):500円、おとな+こどもペア:2,000円 ※2歳半以上推奨

発売日:5月23日(土)一般発売／5月16日(土)会員先行発売

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

協力:りっかりっかフェスタ(国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ)

<他地域での公演>

沖縄公演 7月28日(火)～30日(木) りっかりっかフェスタ(国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ) など

プレイ！シアター in Summer 2026 舞台スタッフワークショップ

日時： 8月12日(水)、8月13日(木)
会場： サウスホール
講師：ロームシアター京都舞台技術課スタッフ
主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

プレイ！シアター in Summer 2026 オープンデー

音楽／演劇／舞踊／美術・映像

日時： 8月15日(土)、8月16日(日) 両日終日
会場： 全館



すべて 撮影:SHINSEKI Inc.

家族や友達、お一人でも楽しめる！

ロームシアター京都の夏休み恒例イベント

“劇場で遊ぼう”を合言葉に、毎年たくさんの子どもたちが集まる大好評企画「プレイ！シアター」を今年も開催します！

ロームシアター京都全館を利用したこどもから大人まで楽しめるイベントがもりだくさんです。

チケット情報

無料、申込不要 ※一部有料、要申込

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

プレイ！シアター in Summer 2026 京都市交響楽団 0歳からの夏休みコンサート

日時:

8月15日(土)11:00開演／14:00開演

会場:

メインホール

はじめてのコンサートはロームシアター京都で決まり！

毎年恒例、0歳から参加できる京都市交響楽団のオーケストラコンサート。今年も子どもも大人も一緒に楽しめるプログラムをお届けします。赤ちゃんの泣き声も大歓迎。はじめてのコンサート体験にもぴったりの、あたたかく親しみやすいひとときです。

指揮:辻博之

オーケストラ:京都市交響楽団

2025年度の様子
撮影:SHINSEKI Inc.

プロフィール

辻博之 | Hiroyuki Tsuji

1984年北海道生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科在学中からオペラ指揮者としての研鑽を積み、2017年オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演を指揮してデビュー。札幌響、読響、東京フィル、大阪フィル、兵庫PAC管、九響等と共演を重ねている。2021年には東京芸術劇場シアターオペラ團伊玖磨《夕鶴》を指揮し、『音楽現代』誌に「活躍を期待する指揮者」として取り上げられた。舞台作品への劇音楽の作曲や、ディズニー・オン・クラシック等、垣根の無い音楽活動も積極的に行う他、幼児や子供との音楽活動に力を注いでおり、楽しいお話を交えた家族で楽しむコンサート、赤ちゃんと一緒に参加できる合唱団等、〈音楽を未来に繋げる〉活動も積極的に行なっている。

京都市交響楽団 | City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年創立。日本で唯一、自治体が運営に責任を持ち、〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指している。2023年第14代常任指揮者に沖澤のどか、2024年首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任。京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動等、多彩な活動を行っている。

チケット情報

全席指定(税込)

1,000円

※0歳から入場可(3歳以上要チケット)、膝上鑑賞は無料(2歳まで)

発売日:6月20日(土)一般発売／6月13日(土)会員先行発売

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ロームシアター京都10周年×京都市交響楽団70周年共同プロジェクト
Project A「オルフ:カルミナ・ブラーナ」
Project B「ブリテン:春の交響曲」

音楽

音楽/舞踊

日時:
Project A 8月23日(日)14:00開演
Project B 12月4日(金)19:00開演

会場:
メインホール



託児あり

京都市音楽芸術文化振興財団に属する、
ロームシアター京都と京都市交響楽団の
節目を寿ぐ共同プロジェクト！

2つ事業(Project A、Project B)に京都市交響楽団のタイトルホルダーの指揮者2名を据え、京都市における音楽・芸術分野をリードする実演団体と運営施設を持つ全国的にも稀有な団体としての強みを活かし、市内外に充実した内容を発信します。



©井上写真事務所 井上嘉和

Project A「オルフ:カルミナ・ブラーナ」

「All Kyoto」が結集！ヤン・ヴィレム・デ・フリーントのタクトと共に奏でるメモリアルステージ

公立初の京都市少年合唱団をはじめ、京都市立京都堀川音楽高等学校、京都市立芸術大学、そして京響とともに数々の舞台を彩ってきた京響コーラスが一堂に集う特別な一日。

「All Kyoto」が結集し、合唱作品を得意とする首席客演指揮者ヤン・ヴィレム・デ・フリーントの情熱あふれるタクトのもと、「京都」だからこそ実現できる、記念碑的なステージをお届けします。

曲目:オルフ:カルミナ・ブラーナ ほか

指揮:ヤン・ヴィレム・デ・フリーント(京都市交響楽団首席客演指揮者)

独唱:安井陽子(ソプラノ)、藤木大地(カウンターテナー)、大西宇宙(バリトン)

合唱:京響コーラス、京都市立芸術大学、京都市立京都堀川音楽高等学校 児童合唱:京都市少年合唱団

管弦楽:京都市交響楽団、京都市立芸術大学

プロフィール ※京都市交響楽団のプロフィールについては17ページ参照

ヤン・ヴィレム・デ・フリーント | Jan Willem de Vriend

ウィーン室内管弦楽団首席指揮者、シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団アーティストック・パートナー。

オランダでテレビ・シリーズにいくつか出演するなど、様々な音楽番組への登場で知名度も高く、2012年にはクラシック音楽へのクリエイティブな貢献に対し、オランダ公共放送NPO Radio 4から賞を贈られた。2024年4月から京都市交響楽団の首席客演指揮者に就任。



©Marco Borggreve

安井陽子 | Yoko Yasui

桐朋学園大学卒業。同大学研究科を経て二期会オペラ研修所マスタークラス修了後、文化庁在外研修員として渡澳し、ウィーン国立音楽大学研究課程修了。在澳中、クラーゲンフルト市立劇場にてハンツェ『若き貴族』イータで欧州デビュー。コンサートでも、主要オーケストラや著名指揮者らと、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ベートーヴェン「第九」、マーラー「復活」「交響曲第4番」、ブラームス「ドイツレクイエム」等多数共演している。二期会会員。



藤木大地 | Daichi Fujiki

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン《メデア》ヘロルド役で東洋人初のカウンターテナーとして鮮烈にデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとり。洗足学園音楽大学客員教授。横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー(2021-2023)。大和高田さざんかホール レジデント・アーティスト。Official Website: www.daichifujiki.com



© hiromasa

大西宇宙 | Takaoki Onishi

武蔵野音楽大学及び大学院、ジュリアード音楽院修了。シカゴ・リリック・オペラにてデビュー。セイジ・オザワ松本フェスティバルにてルイーザ指揮『エフゲニー・オネーギン』の題名役で日本デビュー以来、国内外で活躍し昨今では『ドン・ジョヴァンニ』『魔笛』『コジ・ファン・トゥッテ』で絶賛された。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、ホテルオークラ音楽賞受賞、令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



© Marco Borggreve

京都市少年合唱団 | Kyoto Junior Chorus

全国初の公立少年合唱団(教育委員会直轄)として、昭和33年9月に創設。合唱を通して団員の音楽性を養い、音楽を愛し、豊かで温かい人間味あふれる人格を形成することを目指すとともに、演奏活動を通じて京都市民の音楽文化の向上に努めている。

京都市立京都堀川音楽高等学校 | Kyoto Municipal Kyoto Horikawa Senior High School of Music

昭和23年に設置された、日本で唯一の音楽科単独の公立高校。創設以来70年以上の歴史の中で、全国の音楽を愛する人に門戸を開き、国内のみならず世界で活躍する音楽家を数多く輩出している。

京都市立芸術大学 | Kyoto City University of Arts

1880年に日本初の公立の絵画専門学校として開設された京都府画学校を母体とする日本で最も長い歴史を持つ芸術系の大学。美術と音楽を両軸とし、文化首都・京都に蓄積された豊かな美の伝統を背景に、創立以来140年にわたって、国内外の芸術界・産業界で活躍する優れた人材を輩出している。

京響コーラス | Kyoto Symphony Chorus

1995年「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、2012年からは更に音楽的な高みを目指し、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」へ名称を変更。現在、約130名の団員で構成され、創立者の井上道義を創立カペルマイスター、当時の京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーとして、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場、京都市内文化会館等で練習を行っている。

Project B「ブリテン:春の交響曲」(2026年12月4日【ブリテン命日:没後50年】)

没後50年のブリテンの命日に、ダンサーとのコラボレーションでお届けする特別なひととき

「12月4日」はベンジャミン・ブリテンの「命日」であり、没後50年という「節目」の日でもあります。

この「特別な年、特別な日」に追悼の意も込めて、プロフェッショナルな歌手陣と合唱団が桂冠指揮者・大友直人とともにブリテン『春の交響曲』をお届けします。ダンサーと京都市交響楽団とがコラボレーションするプログラムにもご期待ください。

曲目:バルト:ベンジャミン・ブリテン追悼の「カントゥス」、ラヴェル:クーブランの墓、ブリテン:春の交響曲op.44

指揮:大友直人(京都市交響楽団桂冠指揮者)

振付・ダンス出演:東野祥子、康本雅子 独唱:小林沙羅(ソプラノ)、金子美香(メゾ・ソプラノ)、笛田博昭(テノール)

合唱:東京混声合唱団 児童合唱:京都市少年合唱団 管弦楽:京都市交響楽団

プロフィール

大友 直人 | Naoto Otomo

桐朋学園在学中にNHK交響楽団を指揮してデビュー以来、日本のクラシック音楽界をリードし続けている。これまでに日本フィル正指揮者、大阪フィル専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督を歴任。現在東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督、高崎芸術劇場芸術監督、瀬戸フィルハーモニー交響楽団ミュージックアドバイザー。大阪芸術大学教授、東邦音楽大学特任教授。京都市立芸術大学、洗足学園大学各客員教授。



©Rowland Kirishima

小林沙羅 | Sara Kobayashi

東京芸術大学及び同大学院修了。2010~15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。2012年ソフィア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』で欧州デビュー。リサイタルも各地で行い2019年2月にはロンドンのウィグモアホールにてソロリサイタルを開催。英、独、仏、伊、日、5カ国の作品を歌唱、現地評で絶賛される。2019年サードアルバム「日本の詩(うた)」をリリース。2017年第27回出光音楽賞、2019年第20回ホテルオークラ賞受賞。日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。



©NIPPON COLUMBIA

金子美香 | Mika Kaneko

東京音楽大学声楽演奏家コース首席卒業。同大学院を経てザルツブルグモーツァルテウム音楽院マスタークラス修了。二期会『ワルキューレ』グリムゲルデでデビュー。2018年総監督K.ワグナー氏のオファーによりバイロイト音楽祭に出演し、P.ドミンゴ指揮『ワルキューレ』グリムゲルデで成功を収める。2025年7月には準・メルクル指揮/台湾フィルハーモニック『さまよえるオランダ人』マリーで出演し、高い評価を得る。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第3位、第15回日仏声楽コンクール第2位及び日本歌曲賞受賞。平成24年度山口県芸術文化振興奨励賞受賞。二期会会員。



笛田博昭 | Hiroaki Fueda

名古屋芸術大学音楽学部声楽科首席卒業。同大学院修了。第9回マダム・バタフライ世界コンクール及び第50回日伊声楽コンコルソ第1位。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2012年フェッラーラ国際コンクール第1位。「サントリー一万人の第九」「東急ジルバスターコンサート」「NHKニューイヤーコンサート」「クラシックTV」などに出演し、近年メディアへの露出も増えている。イタリアオペラ黄金期を思わせるドラマティックな声と、日本人離れたスタイリッシュな歌唱フォームは比類なく、日本屈指のプリモテノールとしての地位は揺るぎない。



©Takafumi Ueno

東京混声合唱団 | The Philharmonic Chorus of Tokyo

1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。音楽監督山田和樹。東京・大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ、ラジオへの出演がある。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた250曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品まで幅広く、各地の合唱団との合同演奏、指導者派遣等も精力的に行っている。文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、レコード・アカデミー賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞などを受賞。

東野祥子 | Yoko Higashino

振付家・ダンサー。類稀なる身体性を駆使し、先鋭的な舞台作品を90年代後半より国内外60都市以上にて発表。2000～2014年「Dance Company BABY-Q」を主宰。2015年より京都を拠点に、多ジャンルなアーティストが在籍する「ANTIBODIES Collective」を結成し、大掛かりな舞台作品やパフォーマンスを実践する。ソロダンサーとしても即興コラボレーションを展開する。受賞歴多数。ダンサー育成のWSやアウトリーチなども積極的に行う。www.antibo.org/



康本雅子 | Masako Yasumoto

ダンサー・振付家。自作品を国内外で発表する他、演劇や映像、MVやコンサートなど多岐に渡るジャンルにて活動する。23年にはWSを企画運営する団体「ああ99ビビ」を立ち上げ、「マジな性教育マジカ」「子どもどるダンス部」「働くカラダのためのダンスな体」など。多様なWSを展開中。26年4月より横浜赤レンガ倉庫1号館の振付家に就任。ロームシアター京都では、自主公演を始めプレシアターのナビゲーターや「建築×ダンス」映像作品などに参加。思い入れタップリ。



チケット情報

全席指定(税込)

S席セット券11,000円 ※Project A「オルフ:カルミナ・ブラーナ」、Project B「ブリテン:春の交響曲」の2公演セット
発売日: 5月24日(日)一般発売/5月17日(日)会員先行発売

Project A

一般:S席:6,000円(会員価格 S席5,400円)、A席:5,500円、B席:4,500円、C席:3,500円
U-30:S席:2,500円、A席:2,000円、B席:1,500円、C席:1,000円(当日のみ)
発売日:5月24日(日)一般発売/5月17日(日)会員先行発売

Project B

一般:S席8,000円(会員価格 S席7,200円)、A席7,000円、B席6,000円、C席4,000円
U-30:S席3,200円、A席2,800円、B席2,400円、C席1,600円(当日のみ)
発売日: 8月16日(日) 一般発売/ 8月9日(日)会員先行発売

※未就学児入場不可。

※ユースチケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

※障害のある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取り扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。なお、車椅子スペースには限りがございますので、お問い合わせください。

主催:ロームシアター京都・京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

協賛:ローム株式会社(Project A)

助成:公益財団法人朝日新聞文化財団(Project A)

特別協賛:日東薬品工業ホールディングス株式会社(Project B)

現代オペラパフォーマンス『HAVE A GOOD DAY!』

演劇／音楽

日時：
9月25日(金)19:00開演
9月26日(土)14:00開演

会場：
サウスホール



託児あり

ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞受賞の3名が突きつける、 労働と消費と人間存在のゆくえ

2019年ヴェネチア・ビエンナーレ(第58回国際美術展) 金獅子賞(Best National Participation)を受賞した、リトアニアの女性アーティスト3名、ヴァイヴァ・グライニテ、リナ・ラペリテ、ルギーレ・バルズジュカイトによる現代オペラパフォーマンス。

10人のレジ係とスーパーマーケットの環境音、ピアノ演奏によって構成される。きわめてミニマルな演出の中で観客の想像力を喚起し、労働や消費の現場を舞台化することで、私たちの社会の在り方を問い直すとともに、人間の存在の多面性を静かに浮かび上がらせる作品である。



Photo by Modestas Endriūška

コンセプト:ヴァイヴァ・グライニテ、リナ・ラペリテ、ルギーレ・バルズジュカイト

台本:ヴァイヴァ・グライニテ

作曲・音楽監督:リナ・ラペリテ

演出・美術:ルギーレ・バルズジュカイト

照明デザイン:エウゲニウス・サバリアウスカス

衣装デザイン:ダイヴァ・サマウスカイト

音響エンジニア:アルーナス・ズユス

プロデューサー:オペラマニア

プロフィール

ヴァイヴァ・グライニテ|Vaiva Grainytė

1984年生まれ、リトアニア拠点。作詞テキストをベースに、ジャンルを横断する演劇作品や出版活動を展開している。作家、劇作家、詩人。詩的な解釈を通して日常的な社会問題を逆説的かつ異化的なものへと変換する。

リナ・ラペリテ|Lina Lapelytė

1984年生まれ、リトアニア拠点。作曲音楽をベースとし、ポップカルチャーやジェンダー・ステレオタイプ、ノスタルジーと戯れる。彼女の作品は、歌を中心とした集団的で感情に訴えるパフォーマンスを特徴とし、訓練を受けた／受けていない出演者を巻き込みながら、脆さや沈黙の問題を問い直す。

ルギーレ・バルズジュカイト|Rugilė Barzdžiukaitė

1983年生まれ、リトアニア拠点。演出フィルムメーカー、舞台演出、ビジュアル・アーティスト。遊戯的な方法で人間中心的な思考を揺さぶりながら、現実を異なる角度から照らし出す。

三人は共同制作において、ドキュメンタリーとフィクション、現実と詩、演劇・音楽・視覚芸術の交差に特別な関心を寄せている。彼女たちの代表作であるオペラ・パフォーマンス『Sun & Sea』は、三人による2作目の共同作品。第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展においてリトアニア代表作品として発表され、金獅子賞を受賞した。

チケット情報

全席指定(税込)

一般:6,000円(会員価格5,400円)、ユース(29歳以下):3,000円、18歳以下:1,000円

発売日:6月21日(日)一般発売/6月14日(日)会員先行発売

※未就学児入場不可。

※ユースチケット・18歳以下チケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共同招聘:穂の国とよはし芸術劇場PLAT

助成:ヴィリニユス市、リトアニア文化評議会

協力:駐日リトアニア共和国大使館

<他地域での上演>

愛知公演 10月3日(土) 穂の国とよはし芸術劇場PLAT

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2026

音楽/演劇/舞踊/美術・映像

日時:

10月3日(土)~10月25日(日)

託児あり

会場:

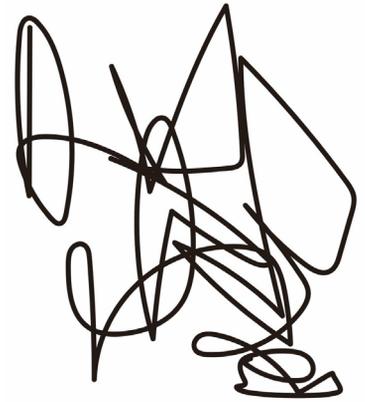
ロームシアター京都、京都芸術センター、京都芸術劇場 春秋座、THEATRE E9 KYOTO ほか

実験的表現で社会とつながる

2010年より開催している京都発の舞台芸術祭

「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を、新しい形の対話でつなぐことを目指しています。世界各地の実験的な舞台芸術を楽しむプログラム「Shows」、フェスティバルが根ざす関西地域をアーティストの視点で探究し、未来の創作基盤につなげていくリサーチプログラム「Kansai Studies」、トークやワークショップなど鑑賞とは異なるフォーマットで、舞台芸術に限らず先端的な思考に触れる「Super Knowledge for the Future [SKF]」の3つのプログラムで展開します。

いま注目すべき国内外のアーティストを紹介すると同時に、先駆的かつ実験的な作品の上演を通して、舞台芸術の新たな可能性をひらいていきます。17回目となるフェスティバルに、ぜひご注目ください。



KYOTO EXPERIMENT 2026

チケット情報

席種・料金:演目により異なる ※発売日未定

主催:京都国際舞台芸術祭実行委員会[京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、

京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、

THEATRE E9 KYOTO(一般社団法人アーツシード京都)、一般社団法人KYOTO EXPERIMENT

レパトリーの創造について

ロームシアター京都が、2017年度から取り組んでいるプログラムで、公立劇場が主体的に作品制作に取り組み、劇場のレパトリー演目として時代を超えて未長く上演されることを念頭にプロデュースしています。また、作品創造のプロセスを通じて、俳優、ドラマトゥルク、制作者等の専門家人材の育成や観客育成のための関連プログラムを企画し、レパトリーの創造から各地域における劇場文化を作ることを目指します。

2026年度は、和田ながらの新作公演を行います。

これまでのレパトリーの創造

市原佐都子/Q 『キティ』(初演2025年、再演2025年)

高谷史郎(ダムタイプ) 『Tangent(タンジエント)』(初演2024年、再演2024年、再々演2025年)

松田正隆 作・演出 『文化センターの危機』(初演2023年)

市原佐都子/Q 『妖精の問題 デラックス』(初演2022年、再演2022年)

松田正隆 作・演出 『シーサイドタウン』(初演2021年、再演2023年)

ジゼル・ヴィエンヌ、エティエンヌ・ビドー＝レイ 『ショールームダミーズ #4』(初演2020年、再演2021年、再々演2025年)

木ノ下歌舞伎 『糸井版 摂州合邦辻』(初演2019年、再演2020年、再々演2023年)

木ノ下歌舞伎 『心中天の網島ー 2017 リクリエーション版ー』(初演2017年)

今年度のレパトリー作品によるツアー

市原佐都子/Q『キティ』ツアー

9月12日(土)、13日(日) 岡山芸術創造劇場 ハレノワ

9月 豊岡演劇祭 2026

9月26日(土) J:COM北九州芸術劇場

10月3日(土)、4日(日) 那覇文化芸術劇場なはーと

10月31日(土)、11月1日(日) クリエイティブスタジオ(札幌市民交流プラザ3階)



市原佐都子/Q 『キティ』(初演2025年) 撮影:中谷利明

レパトリーの創造 ホープスについて

若手アーティスト、クリエイターと協働し、京都から世界へ才能を発信する新プロジェクト<レパトリーの創造 ホープス>。京都を拠点に活動する若手演出家 野村真人・西田悠哉の2名をアソシエイト・アーティストに迎えます。

演劇

レポートリーの創造 ホープス 西田悠哉／劇団不労社 新作『暗黒の喜劇』

日時:

10月9日(金)、10月10日(土)、
10月11日(日)、10月12日(月・祝)

会場:

ノースホール



新たな幸福の可能性を探る、

パラレルワールドを生きる人々の物語

断片的な価値観が並列し共通の軸を失った人々の分断の隙間に浸透する陰謀論的思考から着想した西田悠哉／劇団不労社の新境地。

架空の町「ゴォクマチ」を舞台に、生き別れの双子の物語、地元スポーツ団の栄光と衰退、町長選挙を巡る対立が交錯するダーク・コメディ。因習、権力、所有、執着といった主題を扱う〈集団暴力シリーズ〉のエッセンスを受け継いだ今作は、先の見えない暗黒の時代を皮肉で切実な喜劇として描き出します。

2025年度のワーク・イン・プロGRESSを経て、さらに進化し続けている本作に是非ご注目ください。

作・演出:西田悠哉

出演:荷車ケンシロウ、むらたちあき、永淵大河、森岡拓磨(冷凍うさぎ)、森脇康貴、吉田風評



撮影:井上嘉和

プロフィール

西田悠哉 | Yuya Nishida

1993年東京都生まれ富山県育ち。劇団不労社代表。劇作家・演出家。現代社会に潜む歪な人間模様を滑稽かつグロテスクに描く作劇を特徴とする。京都大学大学院修了。創作と並行して、ハロルド・ピンターの劇作術についての研究を行う。2021年より無隣館4期を経て青年団所属。主な受賞歴として、「関西演劇祭2021」ベスト演出賞、「若手演出家コンクール 2022」優秀賞、「演劇人コンクール 2024」最優秀演出家賞・観客賞など。セゾン文化財団 2025-26年度セゾン・フェロー I。



Photo by Shun Ujita

劇団不労社 | Gekidan Furosyia

2015年に代表の西田悠哉が大阪大学を母体に旗揚げ。2022年より KAIKA アソシエイトカンパニー。近年はムラ社会的な閉鎖コミュニティを舞台とした「集団暴力シリーズ」に取り組むほか、実験的枠組として「FLOW series」を展開。2023年度「ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム“KIPPU”」にて上演した『MUMBLE —モグモグ・モゴモゴ—』の成果より、「第2回 関西えんげき大賞」優秀作品賞・観客投票ベストワン賞、「第1回 日本みどりのゆび舞台芸術賞」HOPE 賞など受賞。

劇団不労社WEBサイト <https://www.furosyia.com/>

チケット情報

全席自由(税込) 3,800円(会員価格3,400円)、ユース(29歳以下):2,500円、18歳以下:1,000円

発売日:7月18日(土)一般発売/7月11日(土)会員先行発売

※未就学児入場不可。 ※ユースチケット・18歳以下チケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 企画製作:ロームシアター京都

共同制作:豊岡演劇祭実行委員会 助成:クリエイター支援基金 協力:安住の地

レパトリーの創造 ホープス 野村真人 『吉日再会』／新作『観光』(仮)

演劇

日時： 会場：
『吉日再会』 10月30日(金)～11月1日(日) ノースホール
新作『観光』(仮) 11月6日(金)～8日(日)



託児あり

旧作リクリエーション&公演、ワーク・イン・プログレスを経て新作発表！

・旧作『吉日再会』

2024年の大阪初演に新たな演出を加え上演。精神科訪問看護師として長年にわたり働いた父と、俳優として活動する息子の二人が出演する本作では、それぞれが自らの役割を演じることで、訪問看護の現場を舞台上に再現。対話を通して相手の心を見つめようとする看護師の父と、自らでない他の誰かを演じる息子は、看護師と俳優との職業的な関係／親子という私的な関係のあわいに揺れながら、他者との普遍的な紐帯を模索する一方で、そして共に老いて行く現実を見つめています。



『吉日再会』撮影:レトロニム

・新作『観光』(仮)

今作では、演出の野村がこれまで創作の関心としてきた「故郷」や「家族」という主題を、多くの社会的課題を残しながら、ますます身近な存在として人々の関心を集める「観光」そして「観光客」という視点から問い直します。国内外の観光客を集めながら、しかし誰かにとっての故郷でもありうる場所の群像を、国内有数の観光地である「京都」での聞き取りやフィールドワークを通じて描き出します。

プロフィール

野村真人 | Masato Nomura

1991年生まれ。演出家。レトロニムのメンバー。京都を拠点に2016年から演劇作品を劇場内外で制作・発表している。人・場所・環境の現実的な関係に演劇を引用し、アクチュアルなフィクションに再構築する。上演作品以外にも、自身の家族の故郷である青森で行った墓参りを題材にした『そうか、おまえいまそこにいるのか』(2024)、高齢者デイサービス利用者との交流から生まれた『わからないのがいいでしょう？』(2024)などの展示作品がある。2024年度ACYアーティスト・フェロー。利賀演劇人コンクール2018優秀演出家賞。2024年度文化庁新進芸術家海外研修制度により1年間ドイツ・ベルリンで研修。
<https://masatonomura.jimdofree.com/>



Photo by shimizu kana

レトロニム | RETRONYM

瀬戸沙門(俳優)、武内もも(陶芸家・美術家)、野村真人(演出家)からなるコレクティブ。劇団速度(2016～2021)を前身に、集まり方を変えることで2022年からレトロニムとなる。観客や観客席といった、各メンバーの関心ごとをキーワードに集まり、フリーペーパーの団体誌「スーパーリラックス」の発行や企画展のキュレーション、グループ展の開催やパフォーマンスの制作などを行っている。 <https://theatre-sokudo.jimdofree.com/about-1/>

チケット情報

全席自由(税込)

『吉日再会』／3,000円(会員価格2,700円)、ユース(29歳以下):2,500円、18歳以下:1,000円

新作『観光』(仮)／3,800円(会員価格3,400円)、ユース(29歳以下):2,500円、18歳以下:1,000円

発売日:7月18日(土)一般発売／7月11日(土)会員先行発売

※未就学児入場不可。 ※ユースチケット・18歳以下チケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

企画製作:ロームシアター京都 助成:クリエイター支援基金

演劇

レパトリーの創造 和田ながら 新作『メンズ・ティー・パーティー』

日時：
12月4日(金)～6日(日)

会場：
ノースホール



託児あり

京都を拠点に活動する演出家・和田ながらによる新作公演
社会に絡みついた「男性性」をほぐし、語りなおす声を探る

ロームシアター京都が作品制作に取り組み、劇場のレパトリー演目として時代を超えて未長く上演されることを念頭に作品をプロデュースする「レパトリーの創造」の第9作。

「男性」という属性は、社会においていかに枠づけられ、一人ひとりの暮らしや身体にどのような影響を与えているのでしょうか。演出家が「女性」という属性と自身との間の距離に感じる揺らぎを出発点に、「男性を演じる」という演劇的な切り口から、人が生きることの複雑さに迫ります。

構成・演出：和田ながら(したため) 美術：大橋鉄郎

プロフィール 和田ながら | Nagara Wada

演出家。「したため」主宰。演技という行為に強い関心を持ち、テキストやモチーフを接写するように読み解いていくことで、作品ごとに固有の演技の文法の構築をめざしている。異なる領域のアーティストとの共同作業も多数。主な作品に、多和田葉子の小説を舞台化した『文字移植』『祖母の退化論』、妊娠・出産を未経験者たちが演じる『擬娩』など。2025年よりKYOTO EXPERIMENTアシスタント・ディレクター。セゾン文化財団セゾン・フェローⅠ。



Photo by Yuki Moriya

大橋鉄郎 | Tetsuro Ohashi

アーティスト。1994年、北海道札幌市生まれ。札幌大谷大学芸術学部美術学科メディアアートコース卒業。画像や物の表面的なイメージを起点に、紙を用いた立体作品やデジタルペイントを制作している。インターネットやSNSで目にする画像の即時性や欲望、ジェンダーや男性性などを主題としながら、多様なメディアで作品を制作している。

<https://tetsuro-ohashi.com/>



Photo: YAMAZAKI Yoshihiko

チケット情報

全席指定(税込)

3,800円(会員価格3,400円)、ユース(29歳以下):2,500円、18歳以下:1,000円

発売日:7月19日(日)一般発売/7月12日(日)会員先行発売

※未就学児入場不可。 ※ユースチケット・18歳以下チケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 企画製作:ロームシアター京都

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2026 プッチーニ『蝶々夫人』

音楽

日時:

10月26日(月)13:00開演

10月28日(水)13:00開演

会場:

メインホール

初めてのオペラをロームシアター京都で！

栗山民也の演出によるシンプルかつスケールの大きな舞台

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は2008年から関西公演が始まり、2016年からはロームシアター京都へ会場を移し、『フィガロの結婚』『蝶々夫人』『魔笛』『ドン・パスクワレ』と上演を重ねてきました。

2026年度は京都で4回目の上演となる『蝶々夫人』をお届けします。『蝶々夫人』はオペラ鑑賞教室でも最も上演の多い作品で、長崎を舞台に、アメリカ海軍士官の夫・ピンカートンへの一途な愛に生きた蝶々さんの想いをシンプルながらスケールの大きな舞台で描くものです。プッチーニの劇的で叙情的な音楽と、人物の内面を鮮やかに描写する演出が、多感な高校生の想像力を大いに刺激します。



撮影:飯田耕治 提供:新国立劇場

演目:蝶々夫人【全2幕(イタリア語上演/日本語字幕付)】

指揮:城谷正博

演出:栗山民也

美術:島 次郎

衣裳:前田文子

照明:勝柴次朗

出演:

蝶々夫人/伊藤 晴、ピンカートン/村上公太、シャープレス/成田博之、スズキ/花房英里子、ゴロー/糸賀修平、ボンゾ/斉木健詞、ヤマドリ/高橋正尚、ケート/杉山由紀

合唱:新国立劇場合唱団

管弦楽:京都市交響楽団

チケット情報

全席指定(税込)

2,750円(高校生及び引率教員【学校団体】)

※学校団体のお申し込みは締め切りました。

※残席がある公演日に限り、高校生以下、一般販売を行います。

※一般販売を行う場合、未就学児入場不可。

主催:京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、新国立劇場

助成:公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

ダムタイプ『2020』

音楽／演劇／舞踊／美術・映像

日時:

12月11日(金)、12月12日(土)、12月13日(日)

会場:

サウスホール



託児あり

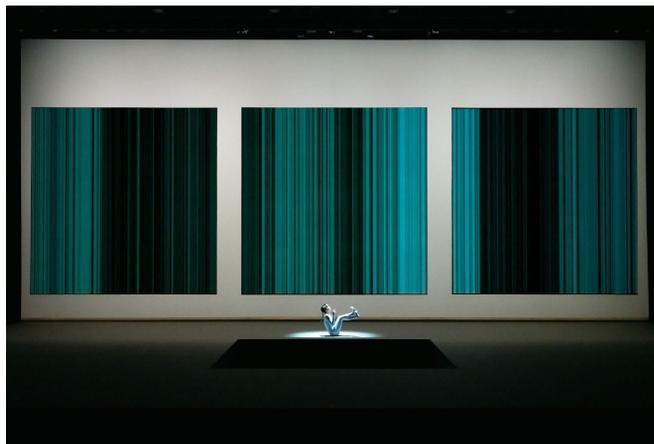
京都を拠点に活動する伝説の

マルチメディア・パフォーマンス・グループ<ダムタイプ>

コロナ禍で無観客・映像公開のみとなった作品の初演!

世界が注目し続けるマルチメディア・パフォーマンス・グループ<ダムタイプ>。

『2020』は、ダムタイプにとって2002年以来の新作パフォーマンスであり、当初は2020年3月にロームシアター京都サウスホールで初演される予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、同年10月には同会場にて『2020』記録映像上映会が開催されました。そして今回、ダムタイプの拠点である京都にて、ついに待望の初演を迎えます。



撮影:福永一夫

池田亮司、大鹿展明、尾崎聡、白木良、砂山典子、高谷史郎、高谷桜子、田中真由美、泊博雅、濱哲史、原摩利彦、平井優子、藤本隆行、古舘健、藪内美佐子、アオイヤマダ、山中透、吉本有輝子、浪川洪作

プロフィール

ダムタイプ | Dumb Type

1984年の活動開始以来、複数のアーティストが参加する集団によるコラボレーションで作品を制作。プロジェクト毎に参加メンバーが変化し、ゆるやかな共同体により制作される作品は、既成のジャンルにとらわれない、あらゆる表現の形態を横断するマルチメディア・アートとして国内外で発表されている。主なパフォーマンス作品には、『pH』(1990年初演)、『S/N』(1994年)、『OR』(1997年)、『memorandum』(1999年)、『Voyage』(2002年)等がある。パフォーマンスと並行して、インスタレーション作品の制作にも取り組み、2018年には、個展「DUMB TYPE | ACTIONS + REFLECTIONS」が、ポンピドゥー・センター・メッス(フランス)で、その後2019年から2020年にかけて東京都現代美術館で開催された。2022年、ダムタイプは坂本龍一を新メンバーに迎え、ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館で新作インスタレーション《2022》を展示。同年、ハウス・デア・クンスト(ミュンヘン、ドイツ)で個展。2023年ヴェネチア・ビエンナーレ帰国展「ダムタイプ | 2022: remap」をアーティゾン美術館(東京)で開催など、国内外で活動を続けている。

チケット情報

全席指定(税込)

一階席:6,000円(会員価格5,400円)、二階席:5,000円、ユース(29歳以下):3,000円、18歳以下:1,000円

発売日:8月29日(土)一般発売/8月22日(土)会員先行発売

※未就学児入場不可。

※ユースチケット・18歳以下チケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

助成:ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーペル

海外ツアー バルリン芸術祭(ドイツ)舞台芸術シーズン2026/27

日程 2027年1月15日(金)、16日(土)、17日(日)

会場 Haus der Berliner Festspiele

土田英生 作・演出 新作朗読劇

演劇

日時：
12月20日(日)

会場：
サウスホール



託児あり

京都の街を舞台に繰り広げられる物語。京都の未来に希望が持てるような作品へ

「MONO」代表で演出・劇作家・俳優の土田英生があたらしく紡ぎあげるの、京都の街を舞台にした群像劇。

作・演出：土田英生

プロフィール

土田英生 | Hideo Tsuchida

劇作家・演出家・俳優／MONO代表。愛知県出身。1989年に「B級プラクティス」(現MONO)結成。1990年以降全作品の作・演出を担当する。1999年『その鉄塔に男たちはいるという』で第6回OMS戯曲賞大賞を受賞。2001年『崩れた石垣、のぼる鮭たち』(文学座)で第56回芸術祭賞優秀賞を受賞。2003年文化庁の新進芸術家留学制度で一年間ロンドンに留学。劇作と並行してテレビドラマ・映画脚本の執筆も多数。その代表作に、映画『約三十の嘘』、『初夜と蓮根』、テレビドラマ『崖っぷちホテル！』『斉藤さん』など。2020年公開の映画『それぞれ、たまゆら』では監督・脚本を担当した。

MONO WEBサイト：<https://c-mono.com/>



チケット情報

全席指定(税込) 2,000円(会員価格1,800円)、18歳以下：1,000円

発売日：8月30日(日)一般発売／8月23日(日)会員先行発売

※未就学児入場不可。※18歳以下チケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

小澤征爾没後3年 小澤征爾のレガシーを未来へとつなぐコンサート

音楽

日時：
2027年2月7日(日)14:00開演

会場：
メインホール

大マエストロを偲んで

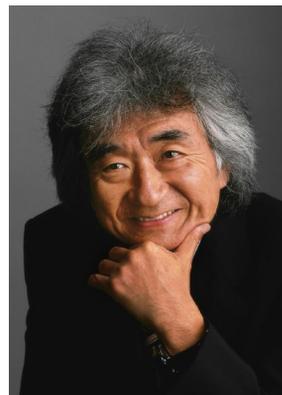
若手音楽家の育成に後半生のかなりのエネルギーを注いでいた指揮者 小澤征爾。没後3年を迎えるにあたり、中でも特に多くの人材を育てた小澤国際室内楽アカデミー＆小澤征爾音楽塾オーケストラとSeiji Ozawa International Academy Switzerland で彼の薫陶を受けた有志たちが集います。マエストロ小澤が残したスピリットをさらに発展させ、未来へとつなぐコンサートです。

プログラム：メンデルスゾーン：弦楽八重奏曲、バーバー：弦楽のためのアダージェョ、
マーラー：アダージェット(交響曲第5番第4楽章)、シェーンベルク：浄夜 ほか

出演者：小澤国際室内楽アカデミー＆小澤征爾音楽塾オーケストラ卒業生、
Seiji Ozawa International Academy Switzerland 卒業生、
山田和樹(指揮)、原田禎夫(チェロ)、Julian Szulman(ヴァイオリン)、
川本嘉子(ヴィオラ)



託児あり



©Shintaro Shiratori

チケット情報 席種・料金未定

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

助成：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU”について

若手アーティストの発掘と育成を目的に、ロームシアター京都と京都芸術センターが協働して行う創作支援プログラム“KIPPU”。9年目となる今回、2026年度の参加アーティスト募集を行い、選考の結果、下記の2団体に決定いたしました。来年度行われる、ロームシアター京都ノースホールでの上演にご期待ください。

ロームシアター京都 × 京都芸術センター
U35 創造支援プログラム

KIPPU

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、
京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市

うさぎの喘ギ

演劇

日時：
12月下旬

会場：
ノースホール

託児あり

他者との応答可能性と実感の喪失を問う

植物状態の祖父を巡る演劇作品です。舞台上で睡眠を行うレクチャーパフォーマンス『睡眠のパフォーマンス(実演)』の創作経験を生かし、舞台上で祖父のことを考えながら眠りにつく主人公の姿が、植物状態の祖父と重なっていくという演出に挑戦します。

また、メタファー(隠喩)とメトニミー(換喩)の違いに着目したテキストの執筆も予定しています。メタファーを支える類似性と、メトニミーを支える隣接性には、それぞれ異なる分断を乗り越える力がある(と同時に、分断を生み出してしまふ力もある)と考えています。そうした両方を意識的に用いることで、演出・テキストの両面においてテーマに沿いながら、実験的な試みを備えた作品を目指します。

作・演出：泉宗良

プロフィール

うさぎの喘ギ | Usagi no Aegi

2017年、作・演出の泉宗良と俳優・制作の中筋和調によって旗揚げ。以降、関西を中心に活動。「現代人の実感の喪失」をテーマに、実験的、前衛的でありながら、どこかノスタルジックな作品の創作・発表を行う。生活に潜む、「感じなかったことにした痛みや悲しみ」に着目した繊細なテキストと、観客に思考を促す挑発的な演出の掛け合わせによって生まれるユニークな観劇体験を特徴とする。

チケット情報

全席自由(税込) 料金未定 発売日：9月下旬一般発売予定

主催：うさぎの喘ギ

共催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、
京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市



「いつだって、はじまれる。」
photo by 脇田友



増川建太／こむらがえり體『令和九年のライスボール』

舞踊／演劇

託児あり

日時：
2027年2月初旬

会場：
ノースホール

料理を行う手のひら、指先、背中中の曲線。

身体から溢れる感覚

普段はあまり意識されないが、台所で調理する動作には感覚が溢れている。例えば、かぼちゃの硬い皮に、包丁を当て、ゆっくり体重をかけて切る。炊き上がって湯気が昇るお米を、湿らせた手のひらで包んで握っていく。想像するだけで、とても豊かな感覚が湧いてくる。その時の重心の移ろい方、呼吸の生じ方など、身体動作の意識を集中させて抽出した、新しい身体感覚と状態を言葉に落とし込んだものが「振付のレシピ」だ。本作は、その「振付のレシピ」を用いるダンサー達が、身体を運ばせ料理を行っていくパフォーマンスである。



「皮膚キッチン The kitchen under skin」(インドネシア)
©Studio Plesungan

私たちは、食の政策、広告に刺激され続ける欲望、食文化の変遷から完全に逃れることはできない。食べる行為を自ら選択しているようで、すでに選ばされている現代人にとって、料理とは、身体と五感という束の間の自由な圏域で食に関わることができる数少ない行為である。このパフォーマンスは、料理の感覚を増幅し先鋭化させ、遅延させることで、コントロールされた食の環境を、個人的で非合理的な身体の深淵部に繋げる抵抗の身振りである。

振付・演出：増川建太

出演：小倉笑、遠藤リョウノスケ

プロフィール

増川建太 | Kenta Masukawa

1993年東京都出身。現在は京都を拠点にダンサー・振付家として活動を行う。近代以降変容していった身体を見つめ直す場として踊りの機会を設け、創作では観客と踊り手の知覚に働きかける振付言語を探索する。近年は戦前～戦後における「食」に関するリサーチを行い、2025年2月『指で触れ火にかけかき混ぜる振付のレシピ にんじん断面指なぞりショー』(京都芸術センター主催公演)を発表。「こむらがえり體」は予測と統御の網の目を、腰を落としてギリギリ避けつつ、臍臓を30度ほど傾けながら時代と私たちの身体との間合いを気にするパフォーマンスアーツ同盟である。 <https://masukawakenta.com/>

チケット情報

全席自由(税込) 料金未定 発売日：11月下旬一般発売予定

主催：増川建太／こむらがえり體

共催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、

京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市



©Misa Shinshi

コミュニティ・プログラム

“いま”を考えるトーク

日時:

Vol.28 7月予定

Vol.29 9月予定

Vol.30 10月予定

会場:

パークプラザ3階 共通ロビー

複雑化し、混迷する現代を「いかに生きるべきか」。多様な角度から同時代の社会を知り、捉え直すためのトピックを挙げ、それにまつわるゲストを招いてともに考えていくトークシリーズです。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、
京都市



撮影:堺俊輔

OKAZAKI PARK STAGE 2026

演劇／舞踊／音楽／美術

日時:

10月予定

会場:

ローム・スクエア

ロームシアター京都の中庭「ローム・スクエア」で、秋の賑わいを

・ローム・スクエアライブ

岡崎地域のみなさんを中心とした多彩なステージ！こどもからシニアまで、みなさんのハレ舞台です。

協力:京都市岡崎いきいき市民活動センター

・ローム・スクエアライブ ~オープンコールステージ~

オープンコール(公募)で選出された団体によるパフォーマンスにご期待ください。

・ちっちゃい焚き火(薪ストーブ)を囲んで語らう会

ローム・スクエアでちいさな焚き火の場をつくります。原始的な「火」を囲みながら、肩書や身分、所属が問われず、誰もが自律的かつゆるやかに集える場を創出します。

監修:小山田徹

プロフィール

小山田徹 | Toru Koyamada

アーティスト。1961年鹿児島に生まれる。京都市立芸術大学日本画科卒業。84年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して90年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アートスケープ」「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェである

「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。京都市立芸術大学学長。



撮影:中谷利明



撮影:堺俊輔



チケット情報

無料、申込不要

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

協力:京都市岡崎いきいき市民活動センター

ユスカル！～若者文化市～ 2026

日時:

11月3日(火・祝)

会場:

ローム・スクエア ほか

「ユスカル！」とは、「ユース・カルチャー」の略称。【若者のミカタ】をテーマに、若者の多様な営みを文化と捉え、イベントを通じてその活動の一端を知ってもらうことを目的とした若者文化発信イベントです。若者文化を「面白い・身近なもの」「応援したい(見方・味方)」と共感いただけることを目指すとともに、出演・出店する発信者自らが若者を応援する若者になっていく機会となることも企図しています。



チケット情報

無料、申込不要

お問合せ

ユスカル！事務局 京都市東山青少年活動センター 075-541-0619

主催:公益財団法人 京都市ユースサービス協会、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

アウトリーチ事業「となりの劇場」

演劇／舞踊

日時:通年

会場:

京都市内の高齢者施設 など

ロームシアター京都が企画・実施するアウトリーチ事業です。例年、演出家等を講師に迎え、ワークショップを企画・実施しています。京都市内の高齢者施設や支援学校へ出向き、地域の人々に向けたワークショップ等を行います。公共劇場として、創造性豊かな地域づくりへの貢献を目指しています。

ファシリテーター:ごまのはえ(ニットキャップシアター、劇作家、演出家、俳優)

北村成美(ダンサー、振付家) ほか

プロフィール

ごまのはえ | Gomanohae

劇作家、演出家、俳優、ニットキャップシアター代表。1977年大阪府生まれ。1999年、自身が劇団代表となって「ニットキャップシアター」を設立。以来、京都を創作の拠点に日本各都市で公演をおこなっている。楽器や仮面など様々な表現手段でイメージーションあふれる表現を追求する一方、「街の記憶」をテーマに地域の歴史や文化を題材にした創作もおこなっている。2004年『愛のテール』で OMS 戯曲賞大賞受賞。2005年自身の故郷大阪府枚方市を題材にした『ヒラカタ・ノート』で OMS 戯曲賞特別賞および新・KYOTO 演劇大賞受賞。2022年サハリン(樺太)の100年の歴史を描いた『チェーホフも鳥の名前』で希望の大地の戯曲賞「北海道戯曲賞」大賞を受賞。



撮影:脇田友

北村成美 | Shigemi Kitamura

ダンサー・振付家。通称しげやん。「生きる喜びと痛みを謳歌するたくましいダンス」をモットーに国内外で活動。ソロダンス作品、市民参加による大型コミュニティダンス作品、演劇、バレエ、オペラ、ミュージカル、パレード、盆踊り、CM、小中特別支援学校でのワークショップなど、数多くの作品を発表。障がいのある人となない人が共に踊り舞台を創る「湖南ダンスカンパニー」にてディレクターを務める。



主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ロームシアター京都×京都市文化会館連携事業 「シアターデビュー！」促進プログラム

日時:2027年2月下旬予定

会場:

京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、
京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、
京都市右京ふれあい文化会館

**おうちの近くの文化会館で開催！
シアターデビューしてみませんか？**

ロームシアター京都と京都市内の文化会館が協働し、未就学児向けの作品上演やワークショップを行う企画。地域の子どもたちが初めて劇場に足を運ぶ＝“シアターデビュー！”の機会と、子どもと大人と一緒に楽しめる場をつくることで、地域コミュニティと劇場の結びつきを深めることを目指しています。

主催:公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団(ロームシアター京都、京都市東部文化会館、
京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館)、京都市

アSEMBリープログラム

日時:通年

会場:

パークプラザ1階、パークプラザ3階共通ロビー、
ローム・スクエア ほか

ロームシアター京都では、市民に憩いの場を提供し、新しい“京都会館”＝ロームシアター京都を象徴するプログラムのひとつとして、日常的に「アSEMBリープログラム」を開催しています。“アSEMBリー”という名称には、京都会館の英語表記「Kyoto Assembly Center」にある、「集会」や「会議」という開館時に込められた思いを引き継ぎつつ、幅広い教養や知識を気軽に得られる大学等の課外授業のイメージを込めています。アSEMBリープログラムは、「ほんものとの出会い」を作り出す京都岡崎 蔦屋書店(カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社)と連携し、賑わいを生み出すために行うさまざまなイベントの総称です。ロームシアター京都が目指す劇場文化を育むための入り口として、気軽に参加できるマルシェや読書会、トークイベントなどのプログラム、一般参加型のワークショップなどのプログラム、ロームシアター京都自主事業と連動したプログラム、地域施設・団体と連携したプログラムを展開しています。

【過去開催したアSEMBリープログラムの一例】

- ・マルシェ(京都岡崎 つむぐ ほか)
- ・ワークショップ(京陶人形の絵付け体験ワークショップ ほか)
- ・絵本のよみきかせ・トークイベント
- ・展示企画 ほか



ラーニング・プログラム

劇場の学校

演劇／舞踊／美術・映像

日時:

演劇を深掘り！コース 7月27日(月)～ 7月31日(金)

舞台スタッフワークショップ 8月11日(火・祝)

新しい表現に挑戦！コース 8月18日(火)～ 8月22日(土)

会場:

ノースホール ほか

あたらしくなった劇場の学校へようこそ！

2019年度からスタートしたロームシアター京都の「劇場の学校」は、今年から「演劇を深掘り！」と「新しい表現に挑戦！」の2コースで展開します。

国内外で活躍するアーティストなどを講師に迎え、各分野の表現について、参加者自身が身体を動かし、考え、ともに「創る」ことに取り組みます。あわせて、ロームシアター京都の舞台技術課のスタッフが講師を務める舞台スタッフワークショップも行います。

講師:

演劇を深掘り！コース 村川拓也(演出家)

新しい表現に挑戦！コース 掬子ぴじん(振付家・ダンサー、neji&co.主宰)、津田道子(アーティスト)

舞台スタッフワークショップ ロームシアター京都舞台技術課スタッフ

対象:

中学1年生～18歳(高校3年生まで)、性別・国籍・経験不問

受講料:

2コース 9,000円、1コース 5,000円、舞台スタッフワークショップ 1,000円 ※受付期間未定

プロフィール

村川拓也 | Takuya Murakawa

演出家。ドキュメンタリーやフィールドワークの手法を用いた作品を、映像・演劇・美術など様々な分野で発表している。虚構と現実の境界に生まれる村川の作品は、表現の方法論を問いただすだけでなく、現実世界での生のリアリティとは何かを模索する。介護する／される関係を舞台上で再現する『ツァイトゲーバー』(2011～)はシンガポール、ドイツなど国内外で上演を重ねている。近作に『ムーンライト』(2018)、『Pamilya(パミリヤ)』(2020)、『事件』(2021)、『仕事と働くことを演じる』シリーズ(2022～)、舞台版『テニス』(2025)など。2016年に東アジア文化交流使(文化庁)として中国・上海／北京に滞在。2022年に第21回AAF戯曲賞にて、『事件』が特別賞を受賞。京都芸術大学映画学科、東京造形大学映画・映像専攻領域非常勤講師。



撮影: 合同会社ウミアック



撮影: 麥生田兵吾(umiak)

振子ぴじん | Pijin Neji

ダンサー・振付家、neji&co.主宰。2004年まで、舞踏家・磨赤児が率いる舞踏カンパニー「大駱駝艦」に所属。その後、自身の作品づくりを始め、声や体の動きが行ったり来たりしながら生まれる身体のあり方に注目した作品を発表している。近年は、コロナ禍における時間の感じ方をテーマにした三部作『コロナリポート』や、AIやロボットを使った子ども向けの舞台作品、YCAM+振子ぴじん『せいせいのせんせい』を発表。振付を、決まった動きを教えるのではなく、体や空間に働きかけることで、動きが生まれるよう導くものとして考えている。周囲の環境や人との関係の中で生まれる変化や、舞台での新しい身体表現の可能性を探っている。



撮影：脇田友(スピカ)

津田道子 | Michiko Tsuda

1980年神奈川県生まれ。インスタレーション、映像、パフォーマンスなど多様な形態で、鑑賞者の視線と動作によって不可視の存在を示唆する作品を制作。2016年より神村恵とのユニット「乳歯」としてパフォーマンスを行う。2023年より、ランニングを起点としたツアーパフォーマンスのようなランニング・イベント「and run」を各地で開催。2018年ACCグランティ。2013年東京芸術大学大学院映像研究科で博士号を取得。2021年より金沢美術工芸大学准教授を経て、2025年より京都市立芸術大学准教授。Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 受賞。



撮影：奥祐司

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～

日時：2027年1月～予定

会場：

ロームシアター京都 ほか

企画プロデュース・マネジメントを学ぶ！

未来のプロデューサーへの第一

地域の舞台芸術のプロデュース／企画制作領域の専門人材の育成プログラム。強力な講師陣を迎え、舞台芸術プロデュース、舞台制作、マネジメントに関するレクチャーとワークショップを開催します。舞台作品をプロデュースする仕事とは、企画はどのようにつくられていくのかなど、社会と舞台芸術をむすぶ制作者たちのシゴトのイロハから、舞台芸術における「プロデュース」のさまざまなカタチを知り、未来の舞台芸術について考える講座です。



主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、

KYOTO EXPERIMENT、NPO法人京都舞台芸術協会、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市

ロームシアター京都×京都市東山青少年活動センター連携事業 未来のわたし —劇場の仕事—

日時:通年

未来の自分を、劇場で見つける！

「未来のわたし」は、ロームシアター京都と京都市東山青少年活動センターが連携し、15歳～30歳の若者に、キャリア形成のきっかけになるよう、劇場の仕事を紹介、体験してもらうプログラムです。実際にロームシアター京都でおこなわれる事業に運営スタッフとして参加していただきます。そのほか、本番鑑賞、劇場見学、また参加者同士の交流の時間を設けます。このプログラムを通して、劇場にとどまらず社会で働く「未来のわたしの姿」のイメージを膨らませてみませんか。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、
京都市東山青少年活動センター(公益財団法人 京都市ユースサービス協会)、京都市

リサーチプログラム

日時:通年 ※2027年3月に最終報告会を予定

舞台芸術を支える新たな視点のために

ロームシアター京都では、プログラム策定のためのリサーチ、舞台芸術に関わる研究・批評分野と実践の場をつなげる若手人材の育成を目的に、2017年度より「リサーチプログラム」を実施しています。「現代/未来の伝統芸能」「子どもと舞台芸術」「舞台芸術のアーカイヴ」、そして自由テーマを設定し、自由な発想で現代の劇場文化を問い直すリサーチャーを募集します。



メンター:小崎哲哉(著述家/アーツ・プロデューサー)
若林朋子(プロジェクト・コーディネーター)

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共催事業ラインアップ ※開催日順

第75回京都薪能 —平安神宮創建130年記念 四海平安—

演劇

日時：
6月1日(月)、6月2日(火) 両日18:00開演

会場：
平安神宮特設能舞台
※雨天の場合はメインホール

平安神宮で、観世・金剛・大蔵各流儀による能・狂言を披露

能の普及と発展をめざして毎年開催され、今や京都の初夏の風物詩となっている京都薪能。夕闇の中で篝火が焚かれ、平安神宮の朱塗りの社殿が映し出されるなか、特設の能舞台が闇夜に浮かび上がり、幻想的な雰囲気や辺りを包みます。観世・金剛・大蔵の各流派による能や狂言が楽しめるという豪華なもので、例年京都はもとより国内外からも多くの観客が来場し、幽玄の世界に酔いしれます。

6月1日(月)

金剛流能「翁」(シテ)金剛永謹

観世流能「杜若」(シテ)杉浦豊彦

大蔵流狂言「福の神」(シテ)茂山茂

観世流能「平安」(シテ)浦田保親

6月2日(火)

観世流能「翁」(シテ)井上嘉介

観世流能「羽衣」(シテ)浦田保浩

大蔵流狂言「鶏聲」(シテ)茂山宗彦

金剛流能「御代の曙」(シテ)金剛龍謹

※両日とも1 曲目の後に「火入式」を行います。

京都いつでもコール TEL:075-661-3755

チケット情報

指定席:

プレミアム席:15,000円、SS席:10,000円、S席:8,000円、A席:7,000円

自由席:4,000円 U-23席:3,000円*要身分証明

※4月1日(水)より公演前日まで販売

※当日券は当日の午後3時半より平安神宮前受付デスクにて販売

※当日の自由席、U-23席は1,000円アップとなります。

発売日:4月1日(水)一般発売

主催:京都市、一般社団法人京都能楽会

共催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

協賛:平安神宮、京都中央信用金庫、月桂冠株式会社



京都市交響楽団 オーケストラ・ディスカバリー2026「京響70周年スペシャル」

日時:

第1回 6月14日(日)

第2回 2027年2月14日(日)

両日14:00開演

会場:

メインホール

託児あり



©井上写真事務所 井上嘉和

5歳から楽しめるオーケストラ・コンサート

京響70周年ならではのスペシャルバージョン!

18年目を迎える2026年度の「オーケストラ・ディスカバリー」は「京響70周年スペシャル」がテーマ。2人のすてきな指揮者ととも、京響の70周年を祝うスペシャルなプログラムをお聴きいただけます。魅力あふれるオーケストラの世界を、ご家族そろってお楽しみください。

第1回 70周年プログラム～発見!ぎゅぎゅっと!傑作選!

指揮:太田弦 ナビゲーター:ウエンツ瑛士

曲目等:

【オープニング曲】(リクエスト投票により後日決定!)

ショスタコーヴィチ:交響曲第15番から第1楽章(2月定期から)

バーンスタイン:「キャンディード」序曲(11月定期から)

ヨハン・シュトラウス二世:喜歌劇「こうもり」序曲(ニューイヤーコンサートから)

ストラヴィンスキー:バレエ音楽「火の鳥」から「カッチェイ王の魔の踊り」(1月定期から)

ワーグナー:楽劇「トリスタンとイゾルデ」から「前奏曲」(10月定期から)

プロコフィエフ:交響曲第5番から第2楽章(プロコフィエフの陣 から)

エルガー:変奏曲「謎」(エニグマ変奏曲)から「ニムロッド」(9月定期から)

ラヴェル:「鏡」(管弦楽版)から「道化師の朝の歌」(7月定期から)



太田弦 ©ai ueda



ウエンツ瑛士

第2回 バレンタイン・スペシャル・コレクション

指揮:川瀬賢太郎 合唱:京響コーラス

曲目等:

ラター:「グローリア」から第1楽章★

プッチーニ:歌劇「蝶々夫人」から「ハミング・コーラス」★

モーツァルト:歌劇「魔笛」序曲

J.S.バッハ(ストコフスキー編):トッカータとフーガ 二短調 BWV 565

プロコフィエフ:「ロメオとジュリエット」組曲 第2番から「モンタギュー家とキャピュレット家」

アンダーソン:舞踏会の美女

モリコーネ:映画「ミッション」からガブリエルのオーボエ

[オーボエ:藤本 茉奈美(京響副首席奏者)]

バーンスタイン:「ウエスト・サイド・ストーリー」からシンフォニック・ダンス

★…京響コーラス出演



川瀬賢太郎 ©Tomoko Hidaki

チケット情報

<2回シリーズ通し券(指定席)>

おとな(19歳以上):5,500円

こども(5歳以上18歳以下):2,500円

チケット発売期間:発売中～4月24日(金)17時まで

<1回券>

指定席(1階&2階席)

おとな(19歳以上):3,000円

こども(5歳以上18歳以下):1,500円

自由席(3階&4階席)

おとな(19歳以上):2,500円

こども(5歳以上18歳以下):1,000円

4月25日(土)一般発売

主催:京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

協賛:ローム株式会社

後援:京都市教育委員会

能楽チャリティ公演～祈りよとどけ、京都より～

演劇

日時:

8月20日(木)

第一部10:30開演/第二部18:30

京都在籍の能楽師有志による能楽チャリティ公演

【第一部】

半能「高砂」(シテ)浦部幸裕

狂言「寝音曲」(シテ)小齊平真路

能「井筒 物着」(シテ)片山九郎右衛門

【第二部】

半能「賀茂」(シテ)樹下千慧

狂言「舟船」(シテ)茂山千五郎

能「天鼓 弄鼓之舞」(シテ)味方玄

チケット情報

全席自由(税込)

2,000円(第一部・第二部とも) ※未就学児入場不可 ※前売・当日・一般・学生・同一料金

発売日:6月1日(月)一般発売

主催:京都在籍能楽師有志 共催:京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、

国際交流基金京都支部

協力:松和印刷株式会社、株式会社京都舞台美術製作所

会場:

サウスホール



「天鼓」シテ:橋本忠樹 撮影:金の星

東京バレエ団 ブルメイステル版『白鳥の湖』

舞踊

託児あり

日時:

9月17日(木)18:30開演

会場:

メインホール

世界中で愛され続ける不朽の名作《白鳥の湖》を完全版で

世界中で愛され続ける不朽の名作。東京バレエ団が誇るレパートリーの中でも高い人気を誇るブルメイステル版を全4幕で上演します。豊かな音楽とともに紡がれる壮麗な舞台が、観る者を物語の深みへと誘います。

音楽:ピョートル・チャイコフスキー

改訂振付:ウラジーミル・ブルメイステル、

(第2幕)レフ・イワノフ/アレクサンドル・ゴールスキー

装置デザイン:エレナ・キンクスカヤ

衣裳デザイン:アレクサンドル・シエシュノフ

出演:オデット/オディール:沖香菜子

ジークフリート王子:宮川新大 ほか

演奏:大阪フィルハーモニー交響楽団



©Koujiro Yoshikawa

プロフィール

東京バレエ団 | The Tokyo Ballet

1964年設立の歴史と伝統のあるバレエ団。伝統的なクラシック・バレエから現代振付家の名作まで幅広いレパートリーを持ち、国内外で多くの公演を行っています。これまでに日本の舞台芸術史上最多の36次799回の海外公演を行い、“日本の生んだ世界のバレエ団”として高く評価されています。



©Ayano Tomozawa

チケット情報

全席指定(税込)

S席:13,000円(会員価格11,700円)、A席:10,000円(会員価格9,000円)、B席:7,000円、C席:5,000円、D席:3,000円

ユース(29歳以下):S席:6,000円、A席:5,000円

発売日:4月28日(火)一般発売/4月21日(火)会員先行発売

※未就学児入場不可。

※ユースチケットをご購入の方は、公演当日、年齢が確認できる証明書のご提示が必要です。

主催:公益財団法人日本舞台芸術振興会

共催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

協力:読売テレビ

お問合せ

キョードーインフォメーション

TEL 0570-200-888(12:00~17:00、土日祝休み)

アジアTYAネットワーク てくてくアジア Little Steps to Asia

日時:12月28日(月)、12月29日(火)

会場:ノースホール ほか

アジアの青少年・こども向けの舞台芸術にかかわるアーティストやプロデューサーなどによる、こども向けワークショップやトークを実施します。

チケット情報

主催:アジアTYAネットワーク、一般社団法人ダンストーク、合同会社 七〇

要申込 料金:ワークショップ 1,500円 共催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市(トークイベント未定)

ニットキャップシアター 新作『風は言葉をドングリに変えた』

演劇

日時:

会場:

2027年2月4日(木)~7日(日)

ノースホール

託児あり

京都駅周辺を舞台に、戦後の混乱期に生きる人々の姿を描く

京都を拠点に活動する劇団。劇作家・ごまのはえの戯曲を、楽器や仮面などを使ってイメージ豊かに表現する独自の舞台作品に定評があります。2023年度~2025年度まで「京都物語プロジェクト」と銘打ち、京都の様々な風景やエピソードの聞き取りから、演劇作品を立ち上げてきました。本作は、戦前の京都を題材とした『土曜日の過ごし方』(2026年2月初演)にひきつづき、京都を舞台に描く最新作。終戦の頃の京都駅周辺を舞台に、かわりゆく時代のなかでたくましく生きる子どもたちの姿とそのまわりの人間模様を生き活きと描きます。



ニットキャップシアター『土曜日の過ごし方』
撮影:井上嘉和

脚本:ごまのはえ 演出:イトウワカナ(intro) 出演:ニットキャップシアター ほか

プロフィール

ニットキャップシアター | Knit Cap Theater

京都を拠点に活動する劇団。1999年設立。劇作家のごまのはえが書く戯曲を、楽器や仮面などを使ってイメージ豊かに表現する独自の舞台作品を追求している。また、地域の伝承や街の記憶をもとにした作品を多数創作している。『ヒラカタ・ノート』で新・KYOTO 演劇大賞(2005年)、『チェーホフも鳥の名前』、『よりそう人』で関西えんげき大賞優秀作品賞を、『さらば、象』で第4回関西えんげき大賞最優秀作品賞・観客投票ベストワン賞を受賞。



一般社団法人毛帽子事務所 | General Incorporated Association Office Keboushi

劇団「ニットキャップシアター」の制作部が独立する形で、2017年に法人格を取得。現在はニットキャップシアターのメンバーのみならず、脚本家、演出家、振付家、俳優、音楽家、造形美術家、制作者など様々な表現者が所属し、活動の場を広げている。



所属メンバーによる舞台公演の企画・製作に加えて、地域の文化団体と協働して、舞台芸術の創作現場で培われた手法をもとにしたワークショップや、地域に根差した舞台作品の創作・上演などをおこなっている。

参加者と創作の時間や創造の場を共有し、参加者個人の可能性や地域の魅力を発見すること、創造/想像する楽しみや喜びを分かち合うことを大切に活動している。

チケット情報 11月下旬

主催:一般社団法人毛帽子事務所、ニットキャップシアター

共催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ロームシアター京都10周年連携事業

ロームシアター京都の10周年を機に、記念すべき一年を一緒に盛り上げてくださる催物を募集し、10周年連携事業として開催します。

※以下は、2026年度に開催するロームシアター京都10周年連携事業です。2025年度実施分については以下、ロームシアター京都ウェブサイトをご参照ください。<https://rohmtheatrekkyoto.jp/10th-anniversary/>

- ・O-VILS.と踊る！吹奏楽エンタメ体験vol.4
日程:4月4日(土) 会場:サウスホール
お問合せ:株式会社結音JAPAN
- ・KYOTO COLLECTION VOL.9
日程:9月6日(日)
会場:メインホール
お問合せ:株式会社京都コレクション&エンターテインメント
- ・京都第41回司延子モダンバレエ発表会
日程:2026年4月12日(日) 会場:サウスホール
お問合せ:一般社団法人司延子モダンバレエ
- ・東京バレエ団 ブルメイステル版『白鳥の湖』
日程:9月17日(木)
会場:メインホール
お問合せ:キョードーインフォメーション
- ・ローム ミュージック フェスティバル 2026
日程:4月18日(土)~4月19日(日)
会場:メインホール、サウスホール、ローム・スクエア
お問合せ:otonowa
- ・SHAKTI「砂の女」
日程:9月26日(土)
会場:ノースホール
お問合せ:Shakti
- ・京都市交響楽団
オーケストラ・ディスカバー2026「京響70周年スペシャル」
第1回 70周年プログラム〜発見!ぎゅぎゅっと!傑作選!
日程:6月14日(日) 会場:メインホール
お問合せ:京都市交響楽団
(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
- ・BrassEnsemble L.J.C. クリスマスコンサート
日程:12月12日(土)
会場:ノースホール
お問合せ:BrassEnsemble L.J.C.

WEBマガジン「Spin-Off(スピノフ)」

ロームシアター京都の自主事業(劇場自らが企画あるいは招聘し、主催または共催としておこなう事業)の上演・実施において、企画の趣旨や魅力、それらの背景を紹介するプラットフォームとしてWEBマガジンを発行しています。

作品に関するインタビューやコラム、上演した公演やトークイベントのレポートやレビューを掲載するほか、社会と芸術にまつわる多様なテーマに基づくコラムも掲載します。上演の場所としてだけでなく、思考するメディアとしてのロームシアター京都のすがたを蓄積していきます。

また、若手の書き手による公演レビューの執筆・掲載にも取り組み、あらたな出会いを通して関西圏の舞台芸術シーンにおける批評の活性化をめざします。

Since 2021.6

もうひとつのロームシアター京都を見つけるWEBマガジン

SPIN-OFF

by ROHM Theatre Kyoto



WEBマガジン「Spin-Off(スピノフ)」はこちらから

音楽総合体験施設 ミュージックサロン

ミュージックサロンは、音楽とさまざまな形で触れあえる施設です。音楽にまつわる展示や本格的な音響施設を備えた120インチスクリーンでのオペラなどの鑑賞等、随時開催しています。

営業時間:10:00-17:00 場所:パークプラザ3階 料金:入場無料 ※一部整理券が必要な場合あり
共同運営:公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
共催:ローム株式会社

会員制度

サポーター・パートナー会員

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団では、京都コンサートホールおよびロームシアター京都の事業の充実と、京都における「舞台芸術の創造環境向上」、「質の高い芸術文化活動の創出」を目的として、広くご支援をいただくための賛助会員制度を設けています。2025年は京都コンサートホールが30周年、2026年にはロームシアター京都が10周年の節目の年となります。そこで、これまでのサポーター・パートナー制度を見直し、2025年4月から以下の3つのコースを設けました。より多くの公演にご来場いただき、両館の「ファン」となって、ご支援いただくことに喜びと楽しみを感じていただけるよう努力してまいります。皆さまのあたたかいご支援・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

コース紹介

- ①「鑑賞で応援！コース」…チケットの割引・ご招待等の特典あり。税制上の優遇措置なし。
- ②「寄付で応援！コース」…税制上の優遇措置あり。
- ③「U29コース」(ロームシアター京都のみ)…29歳以下の方を対象。税制上の優遇措置あり。

年会費

- ①②法人1口10万円～、個人1口2万円～
- ③個人500円/月

会員期間

- ①②毎年4月1日から翌年3月31日まで
- (いつでもご入会いただけます)

特典

京都コンサートホール・ロームシアター京都の定期発行者や公演チラシに加え、会員限定を会報誌をお届け、会員イベント等へのご招待、両館の自主事業公演の最速先行予約、ご芳名の掲載など。

※特典内容は選択したコースによって、異なります。

お問合せ 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 サポーター・パートナー制度 担当窓口(ロームシアター京都内)

TEL:075-746-3362(10:00～17:00、年中無休/臨時休館等により変更の場合あり)

Club会員

特典

京都コンサートホール・ロームシアター京都が指定する公演のチケット優先予約、指定公演チケットの割引販売、公演情報等のご送付、会員限定イベントの開催など。

年会費

2,000円(税込)

会員期間

毎年4月1日から翌年3月31日まで(いつでもご入会いただけます)

お問合せ 京都コンサートホール・ロームシアター京都Club事務局(京都コンサートホール内)

TEL.075-711-2980(10:00～17:00 休館日=第1・第3月曜日/休日の場合はその翌平日、年末年始)

アクセシビリティ情報

観劇サポート

ロームシアター京都自主事業では、お客様の観劇に際して以下の観劇サポートを実施いたします。対象公演の各情報欄に以下のマークを記しています。

みえない・みえづらいお客様へ

音声ガイド音声ガイドとは、舞台の美術や照明、また登場人物の動きや身につけているものについてリアルタイムで解説し、その解説音声を副音声として利用者様にお届けするシステムです。舞台の生音を耳で聞きながら、受信機からの副音声を同時に聞いていただきます。

きこえない・きこえづらいお客様へ

ポータブル字幕機

ポータブル字幕機では、出演者が発話するセリフを文字としてご覧いただけます。セリフ以外にも効果音や物音、音楽が流れているかなども場面に合わせて表示されます。舞台とお手元のポータブル字幕機、両方を見ながらご鑑賞ください。



ヒアリングループ

ヒアリングループとは、舞台付近で集音した音を送信機から専用受信機へ送ることで、舞台の音をクリアに聞くことができるシステムです。磁気コイル付補聴器・人工内耳を装用の方は、専用受信機がなくても送信機からの音を受信していただけます。



施設におけるバリアフリーサービス

バリアフリーに配慮した設備とサービスをご用意しています。

車椅子を利用されるお客様へ

メインホール、サウスホールには、車椅子をご利用のまま観覧できる車椅子スペースがございます。劇場備え付けの車椅子のお貸出しも可能です。

福祉専用駐車場

車椅子をご利用の方や移動が困難な方などにご利用いただける福祉専用駐車場(2台)がございます。

多目的トイレ

館内各フロア(5カ所)およびホール内ホワイエにございます。設備:オストメイト対応、おむつ交換台、ベビーチェア、多目的シート(約150cm×60cm、1階プロムナード北側の多目的トイレのみ)

託児サービス

ロームシアター京都自主事業では、小さなお子さまをお連れの方も安心してゆっくりと舞台をお楽しみいただけるよう、託児サービスを実施いたします。対象公演の各情報欄に右記のマークを記しています。



対象年齢:3か月～就学前

料金:有料 1,000円(税込) /1公演/お子さま1人あたり

※一部料金の異なる公演がございます。

※お申込・詳細についてはロームシアター京都WEBサイト(各公演ページをご確認ください)

事業課メンバー紹介

プログラムディレクター

小倉由佳子 | Yukako Ogura

ロームシアター京都プログラムディレクター、事業課長。2008年～2013年、アイホール(伊丹市立演劇ホール)ディレクターとして、同劇場の主にダンスプログラムの公演、ワークショップを企画制作。2016年4月よりロームシアター京都勤務、2021年4月より現職。

ロームシアター京都 事業企画チームメンバー ※2026年3月現在

蒼森彩加、小倉由佳子、垣田みずき、川原美保、木原里佳、儀三武桐子、後藤孝典、近藤真音、寺田貴美子、成瀬はつみ、眞鍋隼介、山本恵子、和田健太郎



撮影:SHINSEKI Inc.